大村市
観光交流都市（まち）づくり計画

2016－2025

四季をとおして自然と歴史と人がふれあう観光交流都市「おおむら」
～次世代の観光まちづくりをめざして～

市長あいさつ

大村市は、大村湾・多良山系を有し、水と緑と花につつまれた魅力あふれる街です。

また、歴史文化の面では、日本で最初のキリシタン大名となった「大村純忠」は、長崎港を開港し、１５８２年に４人の天正遣欧少年使節をローマに派遣するなど、日本の歴史上大きな役割を果たしました。

このように、全国に誇れる素晴らしい自然や歴史文化を観光資源として、市民一人一人が誇りにし、本市を訪れる方を温かい心でお迎えし、おもてなしの心あふれる観光地づくりに取り組んで行くことが必要であると考えます。

しかしながら、近年、全国的にみても人口減少、少子高齢化の進行に伴い国内観光人口は、減少傾向にあり、交流人口の拡大による観光地域づくりが課題となっています。

このような中、平成３４年（２０２２年）春には、九州新幹線西九州ルート（長崎ルート）が開業する予定であり、長崎空港や長崎自動車道とともに高速交通基盤が整い、観光振興による地域経済の活性化を図るチャンスであると言えます。

そのためにも、観光関連団体や観光関連事業者、そして市民の参画のもと、本市の観光地づくりの方向性を共有し、その実現に向けて協調していく必要があります。

また、観光客のニーズも「癒し」や「交流」を求める観光へと変化しており、本市の豊かな自然を活用したブルー・グリーンツーリズム体験、日本文化体験など、魅力ある観光素材を提供し、国内にとどまらず国外にも目を向け、外国人観光客の滞在を図るための新たな観光戦略を推進していくことが必要です。

これまで、平成１８年（２００６年）に策定した「歴史を活かした観光振興計画」（平成２３年度見直し）に基づき、歴史や自然を活かした魅力ある観光地づくりに取り組んできました。

この策定から１０年を経過した現在、観光客のニーズや旅行形態の変化など、観光を取り巻く環境の変化を踏まえ、「四季をとおして自然と歴史と人がふれあう観光交流都市『おおむら』」と将来像を掲げ、新たな「観光交流都市（まち）づくり計画」を策定しました。

本計画の推進に当たりましては、関係各位、そして市民の皆様と連携・協働して観光地域づくりに取り組んで参りますので、ご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成２８年３月

大村市長　　園田　裕史

ー　目　次　ー

第１章　新たな観光交流都市づくり計画の策定

１観光交流都市づくり計画の目的 ---------- 4
２新たな観光交流都市づくり計画の進め方 ---------- 4
（１）計画の期間 ---------- 4
（２）計画の背景 ---------- 5
（３）新たな観光交流都市づくり計画に向けて ---------- 5･6

第２章　大村市観光の現状と課題

１観光動向の現状と推移 ---------- 7
（１）観光客数 ---------- 7
（２）宿泊客数 ---------- 7
（３）外国人観光客 ---------- 8
（４）観光消費額 ---------- 9
（５）主要施設の利用者 ---------- 9
（６）市町別の観光客数 ---------- 10
２観光の課題 ---------- 11
３課題解決に向けての取り組み ---------- 11
（１）社会的背景と観光の国際化 ---------- 11
（２）具体的な課題への対応 ---------- 12･13･14

第３章　大村市観光の基本的な方向

１将来像 ---------- 15
２具体的な数値目標 ---------- 15
３基本方針 ---------- 16
（１）具体的な観光都市づくりの施策 ---------- 16･17
（２）重点的な取り組み ---------- 17･18

観光交流都市づくり計画の施策体系 ---------- 19

第４章　具体的な観光都市づくりの施策

１魅力的な滞在型観光地づくり ---------- 20
（１）自然・歴史等の観光資源の魅力向上 ---------- 20･21
（２）滞在・交流型観光の充実 ---------- 22･23
（３）修学旅行・コンベンション誘致の強化 ---------- 23･24
２国際交流のまちづくり ---------- 25
（１）外国人観光客の誘客促進 ---------- 25･26
（２）訪日教育旅行へのシフト ---------- 26

３観光基盤の整備による観光地づくり ―――――――――――――――――――――― 27
（１）観光施設の整備 ―――――――――――――――――――――――――― 27･28･29
（２）交通の利便性の向上 ―――――――――――――――――――――――― 30･31
（３）公衆無線ＬＡＮの整備とアプリの開発 ―――――――――――――――― 31
４まちの景観の整備による観光地づくり ―――――――――――――――――― 32
（１）美しい景観の整備と形成 ―――――――――――――――――――――― 32
（２）景観を活かした観光客の誘客 ―――――――――――――――――――― 33･34
５官民協働による観光地づくり ―――――――――――――――――――――― 35
（１）新たな観光資源の発掘との商品開発 ―――――――――――――――― 35･36
（２）新たな食と土産物の開発 ―――――――――――――――――――――― 36･37
（３）魅力あるイベントの充実 ―――――――――――――――――――――― 38･39
６おもてなしを推進する観光地づくり ―――――――――――――――――― 40
（１）観光ガイドの充実と人材育成 ―――――――――――――――――――― 40･41
（２）おもてなしの充実と市民の意識醸成 ―――――――――――――――― 41･42
７情報発信を強化した観光地づくり ―――――――――――――――――――― 43
（１）関係団体と連携した情報発信 ―――――――――――――――――――― 43･44
（２）観光客への効果的な情報発信 ―――――――――――――――――――― 44･45

第５章　重点的な取り組み

１九州新幹線西九州ルート開業に向けた観光客の誘客 ―――――――――――― 46
（１）魅力的な景観づくりによる交流拠点 ―――――――――――――――― 47
（２）施設を活用した観光客の誘客 ―――――――――――――――――――― 47
（３）二次交通の整備 ―――――――――――――――――――――――――― 47
２大村市歴史資料館（仮称）の観光活用について ―――――――――――― 48
（１）観光客の受入体制の拠点づくり ―――――――――――――――――― 48
（２）大村市歴史資料館（仮称）を活かした観光客の誘客 ―――――――― 48
３道の駅「長崎街道鈴田峠」を活用した地域活性化 ―――――――――― 49
（１）住民協働・交流拠点の創出 ―――――――――――――――――――― 49
（２）観光情報発信の機能強化 ―――――――――――――――――――――― 50
（３）長崎街道を活用した観光客の誘客 ―――――――――――――――――― 50
４自然や歴史を活かした観光まちづくり ―――――――――――――――――― 51
（１）地域別の観光資源 ―――――――――――――――――――――――― 51･52
（２）滞在型観光コースの開発 ―――――――――――――――――― 52･53･54･55

第６章　観光交流都市づくり計画の推進に向けて

１推進体制について ―――――――――――――――――――――――――――― 56
（１）市民の役割 ―――――――――――――――――――――――――――― 57
（２）観光関連団体の役割 ―――――――――――――――――――――――― 57
（３）観光関連事業者の役割 ―――――――――――――――――――――――― 58
（４）市の役割 ―――――――――――――――――――――――――――――― 58

里山の基本エリアの考え方　【資料１】　59
計画策定までの経緯　【資料２】　60

第１章　新たな観光交流都市（まち）づくり計画の策定

１　観光交流都市づくり計画の目的

本市では、平成１８年度（２００６年度）に策定した「歴史を活かした観光振興計画」（平成２４年一部見直し）に基づき、１０年間、短・中・長期的な観光振興施策を展開してきました。

この間、自然や歴史を活かした観光や観光客のニーズに応じた、観光メニューの開発など行ってきました。

団体旅行客から個人旅行客へ、また、外国人観光客が増加していく中、新たな**観光資源の発掘**と**既存観光資源の磨き上げ**などが必要です。

このような、観光を取り巻く環境の変化を踏まえ、本市の観光を持続的且つ効果的に事業を推進していくための方策を明らかにするとともに、市民、観光関連団体、観光関連事業者が適切な役割分担のもと、互いに協働して取り組むための指針として、この**新たな観光交流都市づくり計画**を策定します。

２　新たな観光交流都市づくり計画の進め方

(1)計画の期間

この計画は、平成２８年度（２０１６年度)を初年度とし、平成３７年度（２０２５年度)を目標年度とする１０年間を対象とし、５年後に見直しを行うものとします。

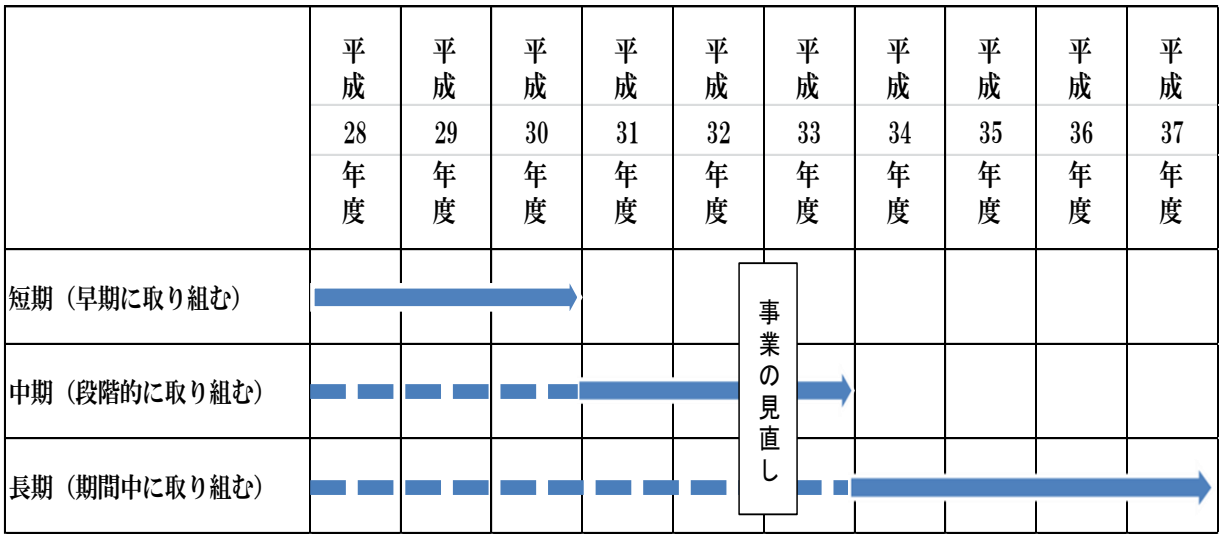


図１　計画の期間

（２）計画の背景

今日、観光はまちづくりにとって不可欠な事業として大切な役割を担っています。国の地方創生事業戦略の重点施策の一つになっており、地方活性化にシフトされてきました。

近年、我が国の観光は、海外からの観光客が増加傾向にあり、２０２０年の東京オリンピック・パラリンピックに向けて、官民の注力が期待されている状況にあります。

一方、中・長期でみると、我が国の観光市場は、避けられない人口減少と超少子高齢化の方向にあり、国内の観光市場も減少することが予想され、これからは「国際観光の戦略」が不可欠となっています。

本市においては、国際空港（国際観光）の玄関口として、新たな観光交流都市づくりの訪日観光の教育旅行、国際コンベンション、スポーツ大会等の基地として、(注) 目的型・滞在型交流の構築・形態の重要な計画策定の意義とチャンスと言えます。

また、観光立県にとって、国際観光の海港とともに空港の役割は期待されていると言えます。

（注）観光の目的となるような場所（観光地）

（３）新たな観光交流都市づくり計画に向けて

本市は、春から初夏にかけて大村公園を中心とする花々が咲き誇り、多くの観光客が訪れていますが、その他の観光施設は、観光客の伸びに課題を残しています。

一方、本市は四季をとおして、海・街・里山の豊かな自然や歴史文化の観光資源を有しており、さらに、観光交流都市づくりに活かすことが要請されています。

大村公園

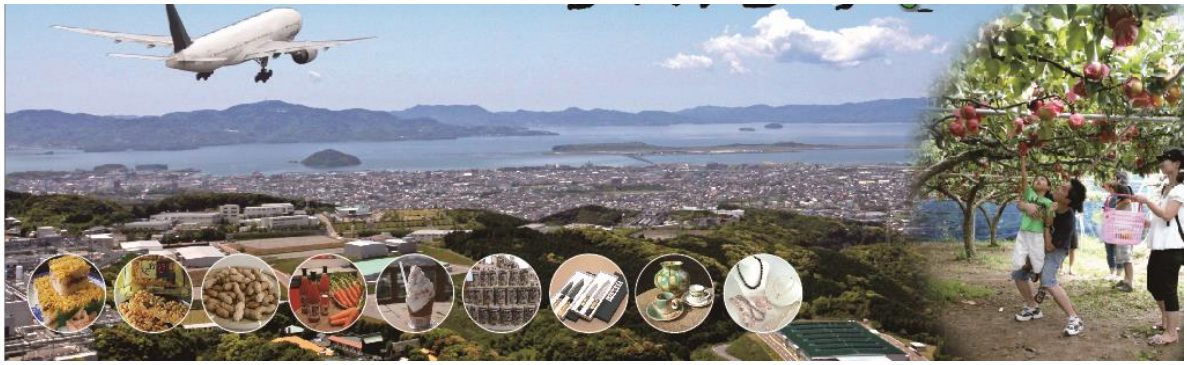
また、長崎県は「長崎の教会群とキリスト教関連遺産」世界遺産登録を目指している中、本市のキリシタンの歴史は切っても切り離せない話題性のあるキリシタン発祥の地として、本市を大いにアピールし、国内はもちろん韓国人観光客をはじめとする**アジアからの観光客の誘客**に努めます。

仏の谷（キリシタン史跡）

更には、中国、台湾、香港、東南アジアなど訪日外国人の増加に伴い、日本文化体験などの観光メニューを開発し、**国際交流拠点となる新たな観光戦略**を推進します。

平成３４年（２０２２年）春には九州新幹線西九州ルート（長崎ルート）が開業される予定であり、**新大村駅（仮称）の周辺となる街づくり**と、本市の豊かな自然と歴史・文化に触れるためには**二次交通の整備**に合わせ新しい観光コースの開発が必要です。

きもの体験



琴の海の大村湾に浮かぶ長崎空港

ローマを指さす天正遣欧少年

第２章　大村市観光の現状と課題

平成２４年３月に見直し計画を策定しました「歴史を活かした観光振興計画」は、「人・まち・歴史・自然が輝く観光交流都市『おおむら』」と将来像を掲げ、（１）観光交流人口の拡大（２）観光消費拡大による経済活性化（３）満足度を高めるおもてなしと観光商品の提供の３つの基本施策によって、様々な事業を行ってきました。

しかし、平成２１年から観光客数は１００万人を突破したものの、依然として日帰り観光客が８割を占めており、かつ、観光消費規模も伸び難く滞在型観光にシフトできる魅力的な新しい観光施策が要請されています。

今後、観光客のニーズに応じた**観光メニューの開発**と、広域的なルートを構築し、**滞在時間の延長**、並びに、着地型観光を推進するために目的型観光地形成による**観光消費拡大**を図ります。

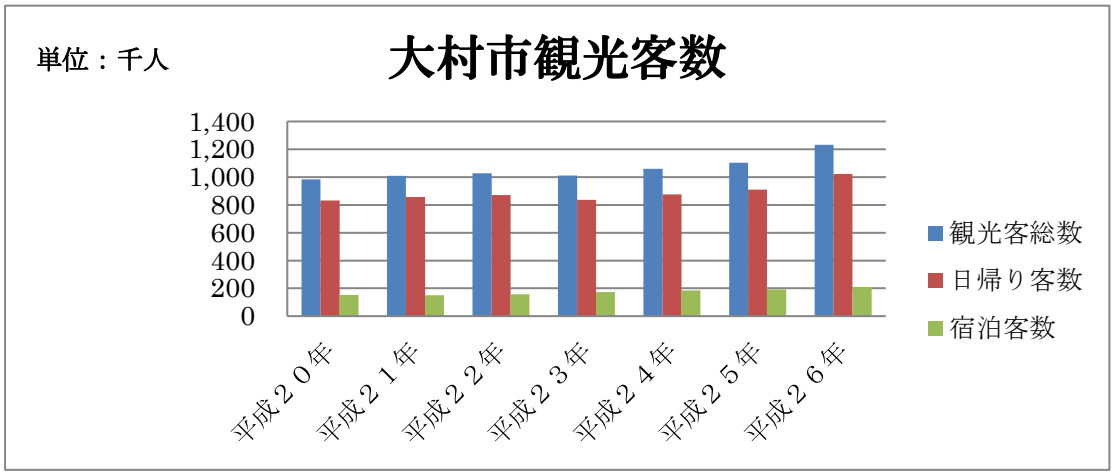
１　観光動向の現状と推移

（１）観光客数

本市の観光客数は、平成２１年に初めて１００万人を突破し、平成２３年に東日本大震災の影響で減少となりましたが、６年連続して１００万人の入込客数を推移しているところです。

（２）宿泊客数

宿泊・日帰り客別にみると、日帰り観光客が圧倒的に多く、県内でも下位を位置しているところです。

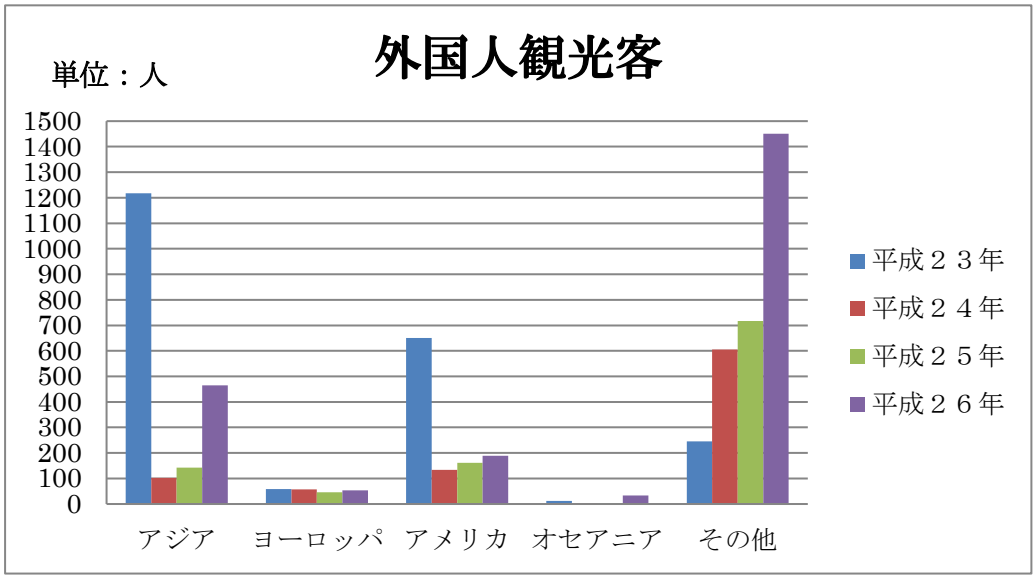


資料：長崎県観光統計

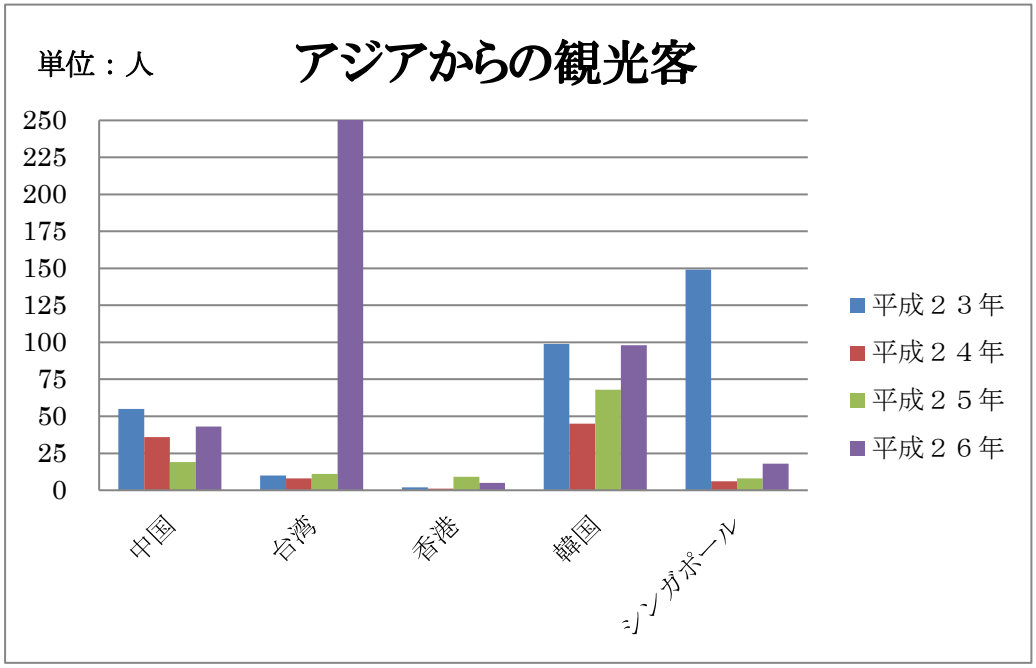
（３）外国人観光客数

本市を訪れた外国人観光客数は、全国や長崎県の動向と同様、増加傾向にあります。

特に、中国からのクルーズ船の入港、韓国からのＬＣＣ旅客機の就航により、中国や韓国のほか、台湾や香港などアジアからの観光客が増加している傾向にあります。



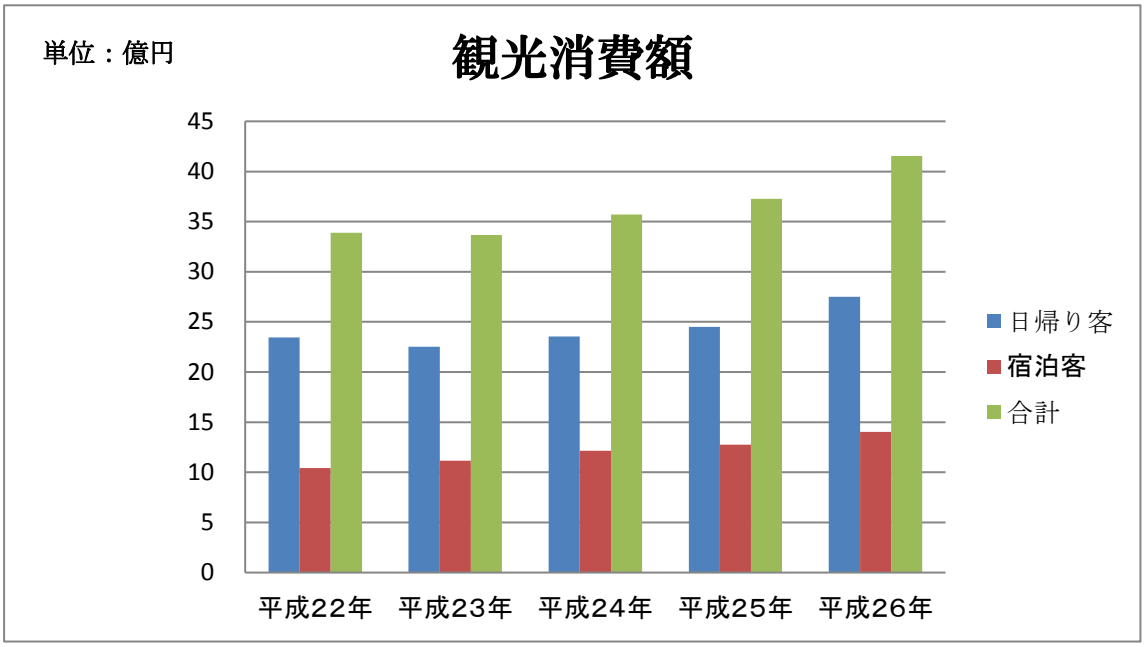
資料：長崎県観光統計



資料：長崎県観光統計

（４）観光消費額

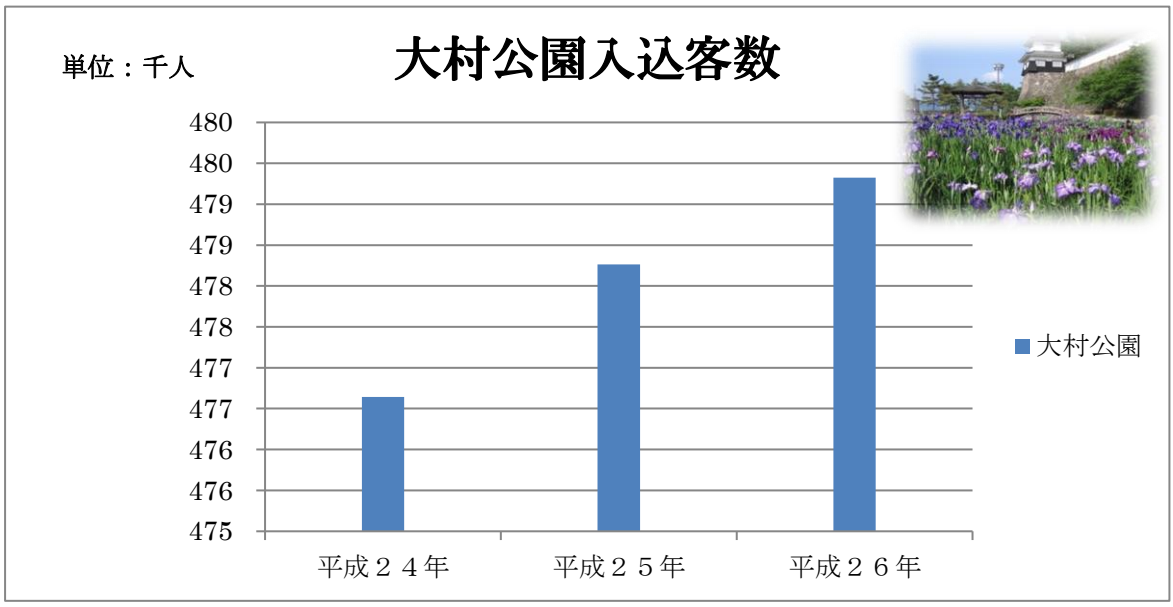
市外観光客や宿泊客数の伸び悩みの状況にあるため、観光消費額も３，４００円/人で、２１市町の中でも１９位と低迷しています。



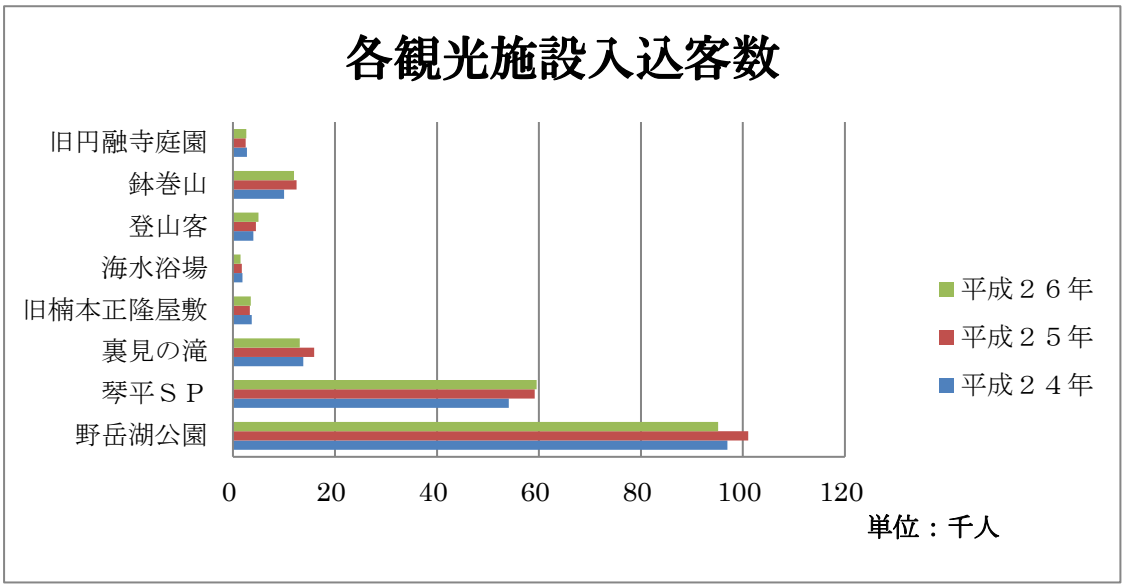
資料：長崎県観光統計

（５）主要施設の利用者

大村公園には、春の桜から初夏の花菖蒲開花時期を中心に約４８万人の観光客が訪れていますが、どの施設においても殆ど伸びていないのが現状です。



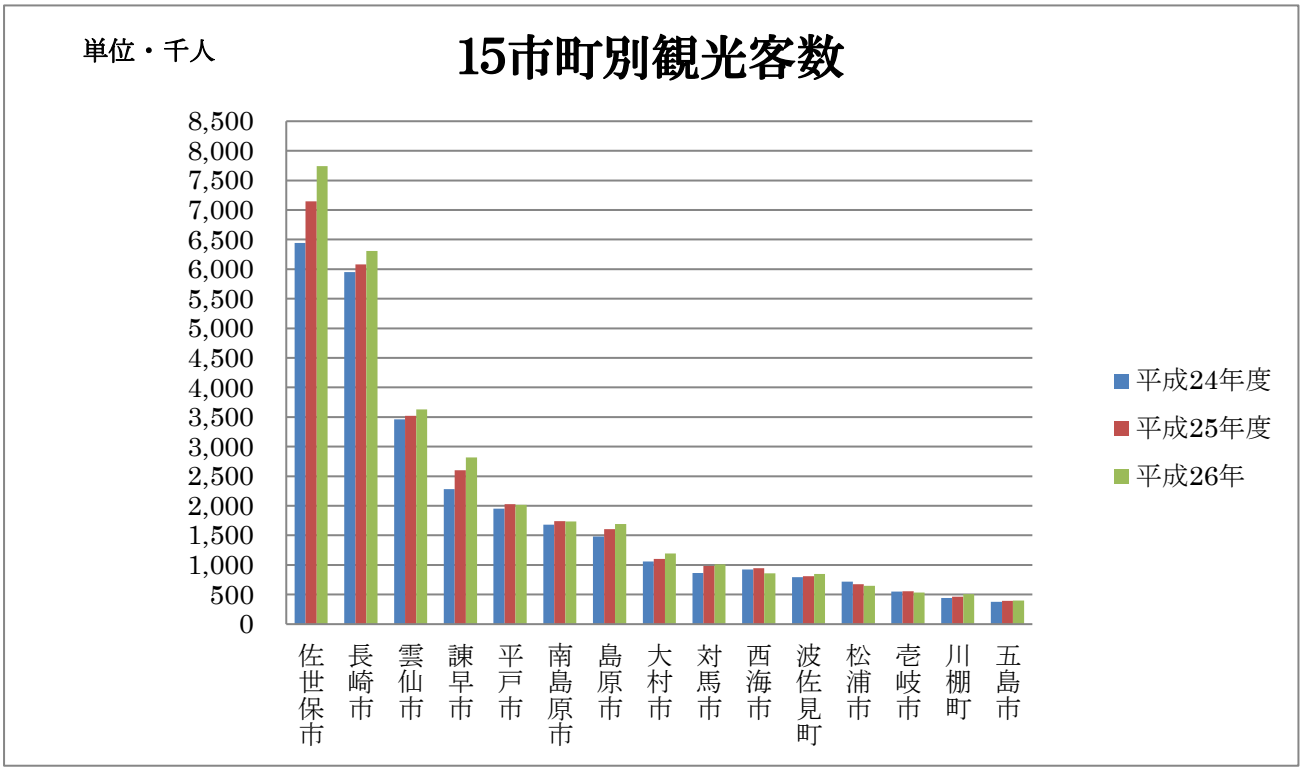
資料：長崎県観光統計



資料：長崎県観光統計

（６）市町別の観光客数

本市の観光客数は、平成２６年で１１９万人を超え、平成２７年の目標値であった１１５万人を超えたものの、長崎県内２１市町の中でも８番目に位置していますが、大幅に伸びていないのが現状です。



資料：長崎県観光統計

２　観光の課題

【地域資源について】

- 海や山など豊かな観光資源、歴史的資源を充分に活かされていない。
- 観光資源を結ぶ二次交通の整備と魅力的な観光コースが整っていない。
- 本市ならではの伝統料理や特産品など、情報発信が不足している。
- 食や土産物となるイメージ商品が不足している。

【観光動向について】

- 観光客数のほとんどは、春が多いため四季をとおして観光できる施設・場所が少ない。
- 滞在型に対応する観光宿泊施設が整っていない。
- 日帰り観光客が８割を超え、滞在型観光に繋がる着地型観光によるメニューが少ないため、観光消費額が長崎県内でも下位を位置している。

【推進体制について】

- 外国人観光客の受け入れ体制が整っていない。（看板、ガイドの育成など）
- 観光客に対するおもてなしの意識が市民に不足している。
- 広域観光の拠点とするため、他自治体との連携が整っていない。
- 観光地としての認知や誘客のための情報発信力が弱い。

３　課題解決に向けての取り組み

（１）社会的背景と観光の国際化

国内の社会情勢、経済情勢は大きく変化し、急速な少子高齢化・生産人口の減少が進み、定住人口が減少傾向にあります。

観光形態も企業や組織型の団体旅行から個人・グループ旅行へ、観る観光から「癒し」「交流」「学び」など、地域住民との交流やふれあいを大切にする観光へと変化しています。

また、今後、中国や韓国、台湾などアジアからの外国人観光客も増加することが考えられます。

このような、社会情勢の変化に伴い、本市の新たな観光地づくりの取り組みが急務です。

(2)具体的な課題への対応

①　自然を活かした観光の推進

本市は、豊かな自然を有しており魅力的な観光資源が存在しています。中でも、大村公園や裏見の滝自然花苑など、春の桜、シャクナゲから花菖蒲の開花時期は多くの観光客が訪れていますが、花の時期以外は、観光客は少ない状況です。また、年間をとおした誘客の可能性がある野岳湖公園、優れた景観をもつ琴平スカイパークや鉢巻山展望所、日岳展望所など観光客数も横ばいであり、未開拓の状況です。

裏見の滝自然花苑

今後、四季を感じる自然づくりと観光地を周遊してもらうため市民活力や仕掛けづくり、波静かな大村湾を活かした景観クルーズやベイサイドの観光カフェなど、新たな観光資源の活用が必要です。

鉢巻山展望所

②　歴史を活かした観光の推進

本市には、日本初のキリシタン大名「大村純忠」をはじめとする、天正遣欧少年使節やキリシタン史跡、本経寺、旧楠本正隆屋敷、長崎街道（松原宿、大村宿、鈴田峠）、城下町、偉人など、古代から近代まで世界史や日本史に関わる多くの歴史的な史跡や資産が残されています。

このような、魅力的な歴史的・文化的遺産を観光に十分に活かされていないのが現状であり、これらを活用した、新たな歴史観光「さるく」メニュー開発やキリシタン史跡を活用したハード面、ソフト面の整備と歴史・文化をつなぐ広域的な観光ルートの整備が必要です。

城下町さるく

キリシタン巡礼ツアー

③　イベントを活かした観光の推進

本市には、夏の風物詩「おおむら夏越花火大会」や「おおむら夏越まつり」、「おおむら秋まつり」など、多くの祭りが開催されていますが、県外や海外からの観光客を更に誘客する方策が必要です。

魅力的な祭りやイベントとするため、内容の充実と新たなイベント企画へと深化していく必要があります。

また、その他「裏見の滝自然花苑しゃくなげ祭り」や「鉢巻山ひがん花まつり」、「のだけ新茶まつり」等に来られた観光客を、野岳湖周辺の体験施設に周遊や滞在させる仕掛けづくりが必要です。

また、シーハットおおむらや市民交流プラザ、建設が予定されている大村市歴史資料館（仮称）、長崎街道（大村宿・松原宿）を活かした音楽、演劇、映像、フォーラム、シンポジウムなどの新しいイベントの研究に努めます。

④　食を活かした観光の推進

大村寿司

本市には、伝統的な郷土料理「大村寿司」や「にごみ」、「ゆでピーナッツ」、また、水産物として「ナマコ」や「イイダコ」などがあげられますが、知名度が弱く全国的には知られていないのが現状です。

市内には、カレーやスイーツで地域おこしを行っている団体がありますが、今後、カレーとともに、大村をイメージさせる食の開発を行い、食のイベントに繋げていく必要があります。

更には、土産物となるような特産品の開発や食の活かした観光ＰＲが必要です。

⑤　インバウンド観光の推進

鈴田牢跡

着地型観光メニューである「きもの体験」を目的として、台湾や香港から観光客が増加しているところです。

また、「長崎の教会群とキリスト教関連遺産」が世界遺産登録を目前に控え、巡礼ツアーを目的に、長崎県が進めている韓国やフィリピンからのキリスト教関係の観光客など、外国からの観光客が増加することが予想されます。

このようなことから、外国人観光客の受け入れ体制（誘導看板、宿泊施設、食文化、土産品、ガイドの育成など）の整備と滞在時間の延長を図るため、新たな日本文化の体験メニューの開発と広域的な巡礼ツアーの観光ルート開発が必要です。

今後、文化的なイベントなど、国際交流の場として国際交流プラザの活用を検討します。

⑥　街並み、景観、里山を活かした観光の推進

琴平スカイパークから
空港を望む

本市の特性である海（大村湾）、街、里山が近接し、コンパクト性を活かした新しい観光の可能性を持っています。広々とした街並み、種々な街路樹、高さや色に配慮した公共施設、里山に広がる野菜・果樹園、森林資源や暮らし文化、里山のカフェ、工房、民泊など、新しい大村観光資源のポテンシャルと形成状況にも注目する必要があります。

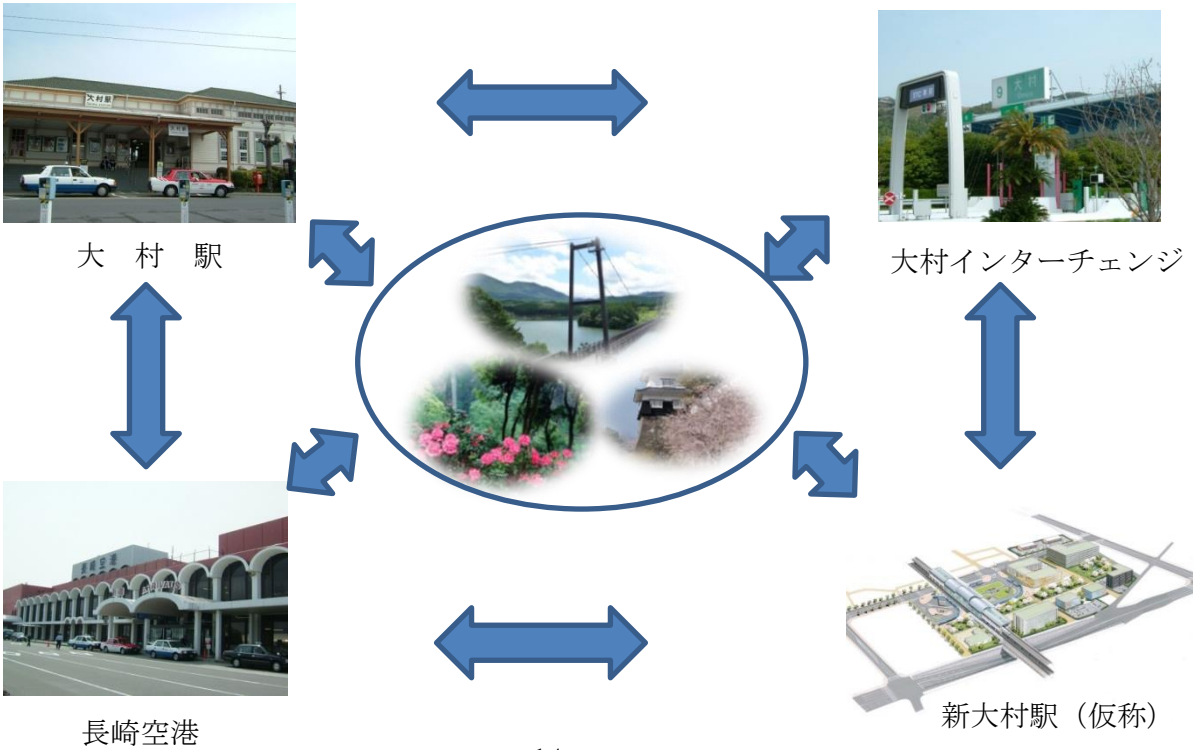
松原・福重地区は、野岳湖周辺のキャンプ場や体験施設、黒木・萱瀬地区の郡川の清流や緑豊かな多良山系、東大村などの農業体験、周辺のカフェやレストラン、工房、多様な宿泊施設など長崎県レベルの新しい観光機能や基点創出のため、滞在型観光となるような観光ルートの開発や施設整備に取り組みます。

⑦　二次交通の整備

平成３４年春には、九州新幹線西九州ルートが開業される予定となっており、今後、新大村駅（仮称）を基点に、中心市街地や観光施設などを結ぶ路線バスの整備や魅力ある観光地を巡る周遊バスの運行については、バス会社等と連携を図りながら、アクセスの強化を図ります。

また、バスの進入が不可能な場所に立地しているキリシタン史跡や城下町（五小路、屋敷跡、旧宅）等は、タクシー協会等と連携を図りながら、魅力ある城下町・巡礼コースを造成します。

【路線バス運行イメージ図】



第３章　大村市観光の基本的な方向

本市観光の中・長期的の基本的な方向として、社会的背景と本市の地域特性を踏まえ位置づけします。

基本的方向①　本市の人口構成は将来の地域を担う若年層が高い。
⇒地域の若者定住化として**将来に繋ぐ次世代の観光交流**（市場）にシフトしていく。

基本的方向②　本市は広域交通網の拠点、とりわけ国際空港を有している。
⇒将来、人口減少、超高齢化による国内観光の縮小から、来るべき海外から観光誘致にシフトしていき戦略的にアジア市場の訪日教育旅行など、若年層を対象に**次世代の国際観光交流拠点**の形成を構築していく。

基本的方向③　本市の広域交通網と自然や歴史自然資源の海・街・里山のコンパクトなまちを活かす。
⇒地域資源を活かしたデスティネーション（目的地）と**滞在化の機能**としてのソフト面の地域の歴史・文化や６次産業、製造業などのメニューの整備、ハード面のベイサイド、街なか、里山での複合型のカフェなど国際化にも対応する**多様な宿泊施設整備**を図っていく。

１　将来像

四季をとおして自然と歴史と人がふれあう観光交流都市「おおむら」
～次世代の国際交流のまちをめざして～

２　具体的な数値目標

豊かな自然や歴史・文化的資源、伝統ある祭りや行事などの観光資源を活かし、四季をとおして観光できるまちづくりを目指し、最終年度の平成３７年（２０２５年）には、観光客数１５５万人を実現します。

観光統計年	観光客数	宿泊客数	観光消費額
平成３２年	**1,380,000**	**250,000**	**56億円**
平成３７年	**1,550,000**	**280,000**	**66億円**

3　基本方針

観光振興の将来像である「四季をとおして自然と歴史と人がふれあう観光交流都市『おおむら』」の実現のため、本市の観光交流都市づくり計画の基本方針を次のように示し、計画的に諸施策を推進します。

(1)具体的な観光都市づくりの施策

①魅力的な滞在型観光地づくり

豊かな自然や伝統的な文化遺産、大村ならではの食を活用し、魅力ある観光商品の開発を行い、地域経済の活性化を図ります。

また、観光の多様なニーズや年齢層に応じた体験プログラムやさるく開発など関係機関と連携による観光メニューを開発し、目的型機能と多様な宿泊施設による滞在型の観光地づくりを推進します。

②国際観光交流のまちづくり

長崎県には、中国からのクルーズ船入港や韓国や上海からの航空機が就航しており、多くの外国人観光客が訪れています。このような状況の中、日本文化の体験メニュー開発や通訳ガイドの育成など、訪日外国人の受け入れ体制の強化を図ります。

また、アジアからの中・高校・大学生をターゲットに訪日教育旅行の国際交流拠点づくりを推進します。

③観光基盤の整備による観光地づくり

既存の観光施設等の基盤整備と自然・文化に触れる二次交通の整備を図ります。また、外国人観光客の誘客に向け、４か国語表記（日本語、英語、中国語、韓国語）の案内板の設置を行います。

更には、観光客の市内観光周遊を促すため、大村公園や森園公園、放虎原殉教地などのキリシタン史跡に、公衆無線ＬＡＮの整備と、動画による周遊観光のアプリ開発を行います。

④まちの景観の整備による観光地づくり

大村湾からの景観、街路樹や看板、(注)ストリートファニチュア、街並み景観、里山の暮らしの風景や全景などの観光スポット、四季の花木の景観による観光資源としての観光づくりに努めます。

（注）沿道の町並みと調和する椅子やテーブル、アート彫刻などの設置物

⑤官民協働による観光地づくり

市民・企業・観光関連団体が行政と協働して、観光まちづくりの学習や研究、観光情報の共有化、観光施策の立案・実施及び管理・評価を図ります。

また、市民参画によるイベントや体験プログラムなど、新たな観光商品の開発を行います。

⑥おもてなしを推進する観光地づくり

観光地への誘導を行うため、看板の整備を計画的に行うとともに、長崎県で推進している「おもてなし６カ条」を基本とし、観光関連団体、幼稚園、保育園、小・中学校、高校など市民一体となった「おもてなし」、特に、外国語取得や異文化研修による「おもてなし」を含めての推進と観光地としての市民の意識醸成を図ります。

⑦情報発信を強化した観光地づくり

地域の旬な情報やイベントなどを、インターネットやマスメディア、雑誌会社などを通じて情報発信を行います。

また、観光客のニーズに応じたパンフレットの制作、本市の魅力を感じるポスターの制作を行います。

更には、マスコットキャラクターを活用した観光ＰＲ行い、観光客の誘客を図ります。

(2)重点的な取り組み

①九州新幹線西九州ルート開業に向けた観光客の誘客

九州新幹線西九州ルート（長崎ルート）が、平成３４年（２０２２年）春、開業される予定となっています。今後、新たな観光地となるような新大村駅（仮称）周辺の景観づくりが必要です。

また、新大村駅（仮称）を軸とした、周遊観光ができるような二次交通の整備促進に取り組みます。

②大村市歴史資料館（仮称）の観光活用について

平成３０年度完成予定の県立図書館に合築型に開設される大村市歴史資料館（仮称）は、本市の歴史観光の重要な施設と位置づけ、ＰＲ、集客に努めます。

③道の駅「長崎街道鈴田峠」を活用した地域活性化

平成２８年（２０１６年）に開業を予定している道の駅は、情報発信施設と合わせ、住民協働で取り組む新たな交流拠点を創出します。

また、長崎街道にちなんだ、様々なイベントを開催し、観光客の誘客を図ります。

更に、本市の特産品をインターネットで情報発信し、道の駅を活用した販路拡大に努めます。

④自然や歴史を活かした観光まちづくり

本市には、海や山などの豊かな自然や歴史的な観光資源、体験施設など市内全域に存在しています。

このような自然や歴史などの観光資源を活用し、観光客のニーズに応じた観光ルートの開発を行い、滞在型観光に繋げます。

また、歴史や大村湾などの自然を活かした、広域的な観光ルートの開発を図ります。

臼　島

長崎街道鈴田峠（歴史の道百選）

多良山系

観光交流都市づくり計画の施策体系

将　来　像

四季をとおして自然と歴史と人がふれあう観光交流都市「おおむら」
～次世代の国際交流のまちをめざして～

国際化、滞在化、市民協働による観光

具体的な観光都市づくりの施策

基本方針	基本施策
1　魅力的な滞在型観光地づくり	（1）自然・歴史等の観光資源の魅力向上 （2）滞在・交流型観光の充実 （3）修学旅行・コンベンション誘致の強化
2　国際交流のまちづくり	（1）外国人観光客の誘客促進 （2）訪日教育旅行へのシフト
3　観光基盤の整備による観光地づくり	（1）観光施設の整備 （2）交通の利便性の向上 （3）公衆無線ＬＡＮの整備とアプリの開発
4　まちの景観の整備による観光地づくり	（1）美しい景観の整備と形成 （2）景観を活かした観光客の誘客
5　官民協働による観光地づくり	（1）新たな観光資源の発掘と商品開発 （2）新たな食と土産物の開発 （3）魅力あるイベントへの転換
6　おもてなしを推進する観光地づくり	（1）観光ガイドの充実と人材育成 （2）おもてなしの充実と市民の意識醸成
7　情報発信を強化した観光地づくり	（1）関係団体と連携した情報発信 （2）観光客への効果的な情報発信

重点的な取り組み

基本方針	基本施策
1　九州新幹線西九州ルート開業に向けた観光客の誘客	（1）魅力的な景観づくりによる交流拠点 （2）施設を活用した観光客の誘客 （3）二次交通の整備
2　大村市歴史資料館（仮称）の観光活用について	（1）観光客の受入体制の拠点づくり （2）大村市歴史資料館（仮称）を活かした観光客の誘客
3　道の駅「長崎街道鈴田峠」を活用した　地域活性化	（1）住民協働・交流拠点の創出 （2）観光情報発信機能の強化 （3）長崎街道を活用した観光客の誘客
4　自然や歴史を活かした観光まちづくり	（1）地域別の観光資源 （2）滞在型観光コースの開発

第４章　具体的な観光都市づくりの施策

具体的な観光都市づくりの基本方針として７項目、基本施策を１７項目に設定し、実施期間、実施主体を明確にし、様々な事業を展開します。

新たに設定した基本方針である「魅力的な滞在型観光地づくり」「国際交流まちづくり」「官民協働による観光地づくり」「おもてなしを推進する観光地づくり」については、市民や観光関連団体、観光関連事業者などが連携を図りながら推進していく必要があります。

また、「観光基盤の整備による観光地づくり」「まちの景観の整備による観光地づくり」「情報発信を強化した観光地づくり」については、行政が主体的に動いていくことが必要です。

今後、観光戦略を推進するにあたり、ソフト面の事業においては、短・中期までに実施し、ハード面においては、中期までに方向性を示し、最終年までに事業完了に向けて努力します。

１　魅力的な滞在型観光地づくり

(1)自然･歴史等の観光資源の魅力向上

本市には、豊かな自然や歴史的な史跡が多く存在していますが、この資源を活かされていないのが現状です。このような、資源を活かした観光コースの開発や触れ合いを求める観光客のニーズに応えるため、体験型観光のメニュー化を図ります。

<table>
<tr><td>事業名</td><td colspan="4">①自然を活かした観光ルートの開発</td></tr>
<tr><td>内　容</td><td colspan="4">花の名所や公園、展望所、大村湾を活かした観光コースの開発を行う。
また、登山愛好者などに多良山系の自然の魅力を周知する。
 </td></tr>
<tr><td rowspan="2">実施期間</td><td>短期（H28～30 年）</td><td>中期（H28～33 年）</td><td colspan="2">長期（H28～37 年）</td></tr>
<tr><td>○</td><td></td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td rowspan="2">実施主体</td><td>行政</td><td>団体・協会等</td><td>事業者</td><td>市民</td></tr>
<tr><td>○</td><td>○</td><td></td><td>○</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>事業名</td><td colspan="4">②歴史的資源を活用した「さるく」コースの開発</td></tr>
<tr><td>内　容</td><td colspan="4">観光客のニーズに応じた、様々な「さるく」コースの開発を行う。
・城下町さるく
・偉人さるく
・キリシタン巡礼さるく
・長崎街道さるく
・本経寺の墓石群と義犬華丸さるく
・神社仏閣さるく
 </td></tr>
<tr><td rowspan="2">実施期間</td><td>短期（H28～30 年）</td><td>中期（H28～33 年）</td><td colspan="2">長期（H28～37 年）</td></tr>
<tr><td>○</td><td></td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td rowspan="2">実施主体</td><td>行政</td><td>団体・協会等</td><td>事業者</td><td>市民</td></tr>
<tr><td>○</td><td>○</td><td></td><td>○</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>事業名</td><td colspan="4">③サイクリングコースの開発</td></tr>
<tr><td>内　容</td><td colspan="4">・市内観光スポットや里山、街、大村湾などを巡るコースの開発を行う。
・観光ガイド、訪問先のガイド協力による事業</td></tr>
<tr><td rowspan="2">実施期間</td><td>短期（H28～30 年）</td><td>中期（H28～33 年）</td><td colspan="2">長期（H28～37 年）</td></tr>
<tr><td></td><td>○</td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td rowspan="2">実施主体</td><td>行政</td><td>団体・協会等</td><td>事業者</td><td>市民</td></tr>
<tr><td>○</td><td>○</td><td></td><td>○</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>事業名</td><td colspan="4">④関係団体と連携した新たな体験メニューの開発</td></tr>
<tr><td>内　容</td><td colspan="4">農・漁業者や関係企業と連携し、様々な体験型観光メニューの開発を行う。
・農業、漁業体験
・松原鎌、三彩焼、真珠工芸の体験
・野岳湖周辺の体験施設の活用
・郷土料理制作体験
・お茶席、書道、着物着付け、折り紙体験
・大村湾を活かした体験

 </td></tr>
<tr><td rowspan="2">実施期間</td><td>短期（H28～30 年）</td><td>中期（H28～33 年）</td><td colspan="2">長期（H28～37 年）</td></tr>
<tr><td></td><td>○</td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td rowspan="2">実施主体</td><td>行政</td><td>団体・協会等</td><td>事業者</td><td>市民</td></tr>
<tr><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr>
</table>

(2)滞在・交流型観光の充実

魅力的な観光コースや体験型観光のメニューが不足しているため、滞在型観光に繋がっていないのが現状です。

魅力的な観光コースの開発、体験型観光のメニュー化を図ったものを滞在型観光となりうる観光商品として、観光客の誘客を図ります。

また、互いの観光振興を図るため、姉妹都市である仙北市や伊丹市、友好都市である飯南町との交流を深めます。

事業名	**①遊学型観光セミナーツアー**			
内　容	・本市の歴史観光を座学と現地訪問、体験等による中高年向きの歴史観光ツアーを実施する。 ・大村藩の領域で企画（内容、講師、コーディネーターは一流）クォリティをつけたツアーを実施する。（2 泊 3 日）			
実施期間	短期（H28～30 年）	中期（H28～33 年）	長期（H28～37 年）	
	○			
実施主体	行政	団体・協会等	事業者	市民
		○	○	

事業名	**②自然や歴史、体験の組み合わせによる観光**			
内　容	野岳湖公園や裏見の滝自然花苑と周辺体験ゾーンを組み合わせた商品開発、広域的なキリシタン史跡周遊観光や大村湾クルージング、グリーン・ツーリズムなどの体験観光を行う。			
実施期間	短期（H28～30 年）	中期（H28～33 年）	長期（H28～37 年）	
	○			
実施主体	行政	団体・協会等	事業者	市民
	○	○	○	

事業名	**③姉妹都市や友好都市との交流促進**			
内　容	姉妹都市、友好都市である仙北市や伊丹市、飯南町との交流事業をとおして、地域経済の活性化を図る。			
実施期間	短期（H28～30 年）	中期（H28～33 年）	長期（H28～37 年）	
	○			
実施主体	行政	団体・協会等	事業者	市民
	○	○		

事業名	④ホテル・旅館での伝統料理や日本文化の体験観光			
内　容	個人旅行客やグループ旅行客に対し、ホテル・旅館等で大村の伝統料理や日本文化を体験できるメニューの開発を行う。			
実施期間	短期（H28～30 年）	中期（H28～33 年）	長期（H28～37 年）	
		○		
実施主体	行政	団体・協会等	事業者	市民
		○	○	

(3)修学旅行・コンベンション誘致の強化

本市には、修学旅行として見学できる場所は限られていますが、本市ならではの体験プログラムの提供や新たな見学地の開拓を行うとともに、九州、中国地方への誘致活動の強化を図ります。

また、交通の要衝の地であることを活かして、関係団体と連携したコンベンション誘致活動を行うと同時に、地域との交流などアフターコンベンションの充実を図り、訪れた方々に観光していただけるよう、観光スポットや飲食店、特産品等の情報発信を行います。

事業名	①修学旅行プランの開発と助成制度の周知徹底			
内　容	体験プログラムの開発や新たに見学できる施設の開拓を行い、中国地方や九州地方を中心に、ホテル・旅館、民泊を含めた誘致活動を行う。			
実施期間	短期（H28～30 年）	中期（H28～33 年）	長期（H28～37 年）	
	○			
実施主体	行政	団体・協会等	事業者	市民
	○	○	○	

事業名	②九州・全国規模のコンベンション誘致活動			
内　容	高校・大学等に対しての合宿誘致と全国規模のスポーツ大会の誘致を長崎県観光連盟をはじめとする関係団体、大村市東京事務所と連携し誘致活動を行う。			
実施期間	短期（H28～30 年）	中期（H28～33 年）	長期（H28～37 年）	
	○			
実施主体	行政	団体・協会等	事業者	市民
	○	○		

<table>
<tr><td>事業名</td><td colspan="4">③コンベンション開催に対する情報発信の強化</td></tr>
<tr><td>内　容</td><td colspan="4">観光コンベンション協会のホームページや旅行会社等へ、屋内外のスポーツ施設や開催助成金制度、観光スポット、飲食店、土産物の割引制度を導入し、情報発信を行う。
 </td></tr>
<tr><td rowspan="2">実施期間</td><td>短期（H28～30 年）</td><td>中期（H28～33 年）</td><td colspan="2">長期（H28～37 年）</td></tr>
<tr><td>○</td><td></td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td rowspan="2">実施主体</td><td>行政</td><td>団体・協会等</td><td>事業者</td><td>市民</td></tr>
<tr><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td></td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>事業名</td><td colspan="4">④自然を活かしたスポーツ大会の開催</td></tr>
<tr><td>内　容</td><td colspan="4">大村湾と新設されたロードを活かしたトライアスロン大会や山岳コースを活かしたトレイルランニングなどを開催し観光客の誘客を図る。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">実施期間</td><td>短期（H28～30 年）</td><td>中期（H28～33 年）</td><td colspan="2">長期（H28～37 年）</td></tr>
<tr><td></td><td>○</td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td rowspan="2">実施主体</td><td>行政</td><td>団体・協会等</td><td>事業者</td><td>市民</td></tr>
<tr><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr>
</table>

2　国際交流のまちづくり

(1)外国人観光客の誘客促進

訪日外国人観光客の増加に伴い、滞在化を図るための体験メニューの開発やスポーツ交流など、国際的な観光拠点となる交流まちづくりを推進します。

事業名	①滞在化を図るための体験メニューの開発			
内　容	日本文化の体験メニューや日本ならではの料理教室の体験メニューの開発を行う。 ・書道、華道、茶道、武道、着物などの体験 ・郷土料理や寿司などの日本ならではの料理体験 ・人力車、伝統工芸、食品加工の体験			
実施期間	短期（H28～30 年）	中期（H28～33 年）	長期（H28～37 年）	
	○			
実施主体	行政	団体・協会等	事業者	市民
	○	○	○	○

事業名	②免税店との連携による市内周遊観光と販路拡大			
内　容	免税店に来場される観光客に対し、市内周遊観光を促すとともに、大村の特産品や農産物などの販路拡大を図る。			
実施期間	短期（H28～30 年）	中期（H28～33 年）	長期（H28～37 年）	
	○			
実施主体	行政	団体・協会等	事業者	市民
	○		○	

事業名	③国際交流プラザの活用			
内　容	外国人観光客に対する案内所としての機能や国際交流の場として活用する。			
実施期間	短期（H28～30 年）	中期（H28～33 年）	長期（H28～37 年）	
		○		
実施主体	行政	団体・協会等	事業者	市民
	○	○		○

事業名	**④大村の里山を県の新しい国際観光地に創生する事業**			
内　容	・将来の国内観光市場と国際観光の誘発と滞在化戦略事業 ・次世代の国際観光交流の拠点形成 ・里山の景観、交流、滞在化の観光特区			
実施期間	短期（H28～30 年）	中期（H28～33 年）	長期（H28～37 年）	
			○	
実施主体	行政	団体・協会等	事業者	市民
	○	○		

(2)訪日教育旅行へのシフト

外国からの教育旅行も徐々に増加しつつあり、日本を理解してもらう教育旅行としての拠点の整備や受け入れ体制を強化し、将来の観光客とリピーターとして誘客を図ります。

事業名	**①交流拠点としての整備**			
内　容	小・中学校、高等学校、民泊、公共施設など交流拠点としての受け入れ体制を図る。			
実施期間	短期（H28～30 年）	中期（H28～33 年）	長期（H28～37 年）	
	○			
実施主体	行政	団体・協会等	事業者	市民
	○	○		

事業名	**②交流事業のプログラム化**			
内　容	・音楽や日本文化、スポーツなどの交流プログラムの提供 ・工場などの施設見学やニューツーリズムなどの体験プログラムの提供			
実施期間	短期（H28～30 年）	中期（H28～33 年）	長期（H28～37 年）	
	○			
実施主体	行政	団体・協会等	事業者	市民
	○	○		

3　観光基盤の整備による観光地づくり

(1)観光施設の整備

本市の情報発信施設である観光案内所は、観光客が立ち寄りやすい開放的で多機能な施設に整備する必要があります。

また、自然豊かな公園を磨き上げるため、四季をとおして楽しめる花の植栽や国内外の受け入れ体制の強化を図るため、説明看板や案内看板などの４か国語表記（日本語、英語、中国語、韓国語）の看板整備を進めます。

<table>
<tr><td>事業名</td><td colspan="4">①観光コンベンション協会の観光案内機能の充実</td></tr>
<tr><td>内　容</td><td colspan="4">・地域限定旅行業登録取得による着地型旅行商品・宿泊企画の自主企画及び販売を目指す。
・長崎空港ターミナルビル、新大村駅（仮称）コンコースへの案内所開設、JNTO インフォメーションの認可取得を目指す。
・観光案内と土産物等の販売所を兼ね備えた、観光案内所としての機能強化を図る。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">実施期間</td><td>短期（H28～30 年）</td><td>中期（H28～33 年）</td><td colspan="2">長期（H28～37 年）</td></tr>
<tr><td>○</td><td></td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td rowspan="2">実施主体</td><td>行政</td><td>団体・協会等</td><td>事業者</td><td>市民</td></tr>
<tr><td>○</td><td>○</td><td></td><td></td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>事業名</td><td colspan="4">②市内観光施設の看板整備</td></tr>
<tr><td>内　容</td><td colspan="4">市内施設の説明看板や案内看板を充実するとともに、段階的に各看板を多言語表記看板にする。 </td></tr>
<tr><td rowspan="2">実施期間</td><td>短期（H28～30 年）</td><td>中期（H28～33 年）</td><td colspan="2">長期（H28～37 年）</td></tr>
<tr><td>○</td><td></td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td rowspan="2">実施主体</td><td>行政</td><td>団体・協会等</td><td>事業者</td><td>市民</td></tr>
<tr><td>○</td><td></td><td></td><td></td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>事業名</td><td colspan="4">③観光施設のバリアフリー化</td></tr>
<tr><td>内　容</td><td colspan="4">観光客が気軽に立ち寄りやすい施設の整備と情報発信機能を強化する。また、市内観光施設のバリアフリー化を推進する。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">実施期間</td><td>短期（H28～30 年）</td><td>中期（H28～33 年）</td><td colspan="2">長期（H28～37 年）</td></tr>
<tr><td></td><td>○</td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td rowspan="2">実施主体</td><td>行政</td><td>団体・協会等</td><td>事業者</td><td>市民</td></tr>
<tr><td>○</td><td>○</td><td></td><td></td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>事業名</td><td colspan="4">④日帰り通過型から宿泊滞在型への転換事業の促進</td></tr>
<tr><td>内　容</td><td colspan="4">・前提・・・宿泊滞在機能（朝夕のイベント、体験、交流、ツアーによるソフトと合わせて）を促進する。
・小規模から建設できる市民、移住者、団体、企業、NPO の事業者
・里山地区への多様な宿泊施設の建設（民泊、ペンション、カフェ型、ロッジ、コテージプチホテルなど）</td></tr>
<tr><td rowspan="2">実施期間</td><td>短期（H28～30 年）</td><td>中期（H28～33 年）</td><td colspan="2">長期（H28～37 年）</td></tr>
<tr><td></td><td>○</td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td rowspan="2">実施主体</td><td>行政</td><td>団体・協会等</td><td>事業者</td><td>市民</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>○</td><td>○</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>事業名</td><td colspan="4">⑤野岳湖キャンプ場の再活用と工業団地コミュニティパークの活用</td></tr>
<tr><td>内　容</td><td colspan="4">・大村観光の滞在化戦略として宿泊（滞在観光）機能の促進と強化
・県と市による観光戦略特区事業を推進する。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">実施期間</td><td>短期（H28～30 年）</td><td>中期（H28～33 年）</td><td colspan="2">長期（H28～37 年）</td></tr>
<tr><td></td><td>○</td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td rowspan="2">実施主体</td><td>行政</td><td>団体・協会等</td><td>事業者</td><td>市民</td></tr>
<tr><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td></td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>事業名</td><td colspan="4">⑥植物の植栽による観光地づくり</td></tr>
<tr><td>内　容</td><td colspan="4">公園などに、四季をとおして観光できる植物を植栽し、観光客の誘客を図る。
・大村公園にオオムラザクラを植栽する。
・野岳湖公園に紅葉を植栽する。
・森園公園に、芝桜やアジサイを植栽する。
・琴平スカイパークに水仙を植栽する。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">実施期間</td><td>短期（H28～30 年）</td><td>中期（H28～33 年）</td><td colspan="2">長期（H28～37 年）</td></tr>
<tr><td></td><td>○</td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td rowspan="2">実施主体</td><td>行政</td><td>団体・協会等</td><td>事業者</td><td>市民</td></tr>
<tr><td>○</td><td>○</td><td></td><td></td></tr>
</table>

事業名	⑦琴平スカイパークの活用			
内　容	・琴平スカイパークのパラグライダースクールにおいて、タンデムフライト等による一般利用者の拡大を図る。 ・将来的には、着地点と滑走路を結ぶリフトの設置により、更なる利用者拡大と夜景観光者の誘致を図る。			
実施期間	短期（H28～30 年）	中期（H28～33 年）	長期（H28～37 年）	
		○		
実施主体	行政	団体・協会等	事業者	市民
	○	○	○	

事業名	⑧大村歴史博物館の建設（大村純忠の館歴史展示館）			
内　容	大村の歴史文化のシンボルとしてのハード事業 ・日本のキリシタン史の原点として、また、世界遺産の遺跡はないが歴史の証として検討する。 ・歴史的資料を展示し、音・光・映像などの演出による施設を整備する。			
実施期間	短期（H28～30 年）	中期（H28～33 年）	長期（H28～37 年）	
			○	
実施主体	行政	団体・協会等	事業者	市民
	○			

事業名	⑨臼島の活用			
内　容	大村湾を活かしたクルージングやスポーツの拠点となる臼島の整備を検討する。			
実施期間	短期（H28～30 年）	中期（H28～33 年）	長期（H28～37 年）	
			○	
実施主体	行政	団体・協会等	事業者	市民
	○	○	○	

事業名	⑩大型温泉ホテル、バンガローの建設			
内　容	大村市街地を一望できる野岳湖周辺に、大型リゾートホテルやキャンプ施設、バンガローの建設を検討する。			
実施期間	短期（H28～30 年）	中期（H28～33 年）	長期（H28～37 年）	
			○	
実施主体	行政	団体・協会等	事業者	市民
	○	○	○	

(2)交通の利便性の向上

年間で多く訪れている大村公園を発着点とする、バスの運行や観光スポットを結ぶバスの運行など二次交通の整備が必要です。

また、大型バスの通行が難しいキリシタン史跡のルートにおいては、タクシー観光の充実を図ります。

事業名	①大村公園を発着とする市内周遊バスの充実			
内　容	桜の開花時期に合わせた、市内桜名所巡りや花菖蒲開花時期に、歴史的史跡や自然を巡るコース、お買いものコースなど新たな観光コースの開発を行い、周遊バスを運行する。			
実施期間	短期（H28～30 年）	中期（H28～33 年）	長期（H28～37 年）	
	○			
実施主体	行政	団体・協会等	事業者	市民
	○	○	○	

事業名	②タクシー観光の充実			
内　容	大型バスが通行不可能なキリシタン史跡や観光地を巡る、歴史観光ルートの開発を行い、周遊タクシー観光の周知を図る。また、案内サービスが提供できるよう乗務員を育成する。			
実施期間	短期（H28～30 年）	中期（H28～33 年）	長期（H28～37 年）	
	○			
実施主体	行政	団体・協会等	事業者	市民
	○	○	○	

事業名	③魅力ある観光資源を結ぶバスの運行			
内　容	新幹線開通を見据え、長崎空港や大村駅、大村公園を発着とする観光ルートを開発し、バスを運行する。			
実施期間	短期（H28～30 年）	中期（H28～33 年）	長期（H28～37 年）	
	○			
実施主体	行政	団体・協会等	事業者	市民
	○	○	○	

事業名	④レンタサイクルの充実			
内　容	サイクリングコースの提供を行い、観光案内所や新大村駅（仮称）へのレンタサイクルの充実を図る。			
実施期間	短期（H28～30 年）	中期（H28～33 年）	長期（H28～37 年）	
		○		
実施主体	行政	団体・協会等	事業者	市民
	○	○		

(3)公衆無線LANの整備とアプリの開発

旅行形態が団体旅行から個人旅行へ、また、外国人観光客が増加している中、受け入れ体制の強化を図るため、市内全域の観光地に公衆無線 LAN の整備を行います。

また、観光スポットや飲食店などを紹介するアプリの開発を行い、市内観光の周遊を促すとともに地域経済の活性化を図ります。

事業名	①観光施設への公衆無線ＬＡＮの設置			
内　容	大村公園や野岳湖公園、キリシタン史跡などに公衆無線 LAN の整備を行い、市内全域の観光地への整備を行う。			
実施期間	短期（H28～30 年）	中期（H28～33 年）	長期（H28～37 年）	
	○			
実施主体	行政	団体・協会等	事業者	市民
	○			

事業名	②市内観光の周遊を促すアプリの開発			
内　容	外国人観光客が市内周遊できるような、観光施設や飲食店などを紹介する多言語に対応したアプリの開発を行う。			
実施期間	短期（H28～30 年）	中期（H28～33 年）	長期（H28～37 年）	
	○			
実施主体	行政	団体・協会等	事業者	市民
	○	○		

４　まちの景観の整備による観光地づくり

(1)美しい景観の整備と形成

本市には、雄大な自然や沿道景観、のどかな里山の風景など、美しい景観を観光資源として活用していくことが重要です。身近な道路沿道の街路樹などの整備や市民協働による「花いっぱい運動」も積極的に展開し、観光客の誘客に繋げます。

<table>
<tr><td>事業名</td><td colspan="4">①観光地へ誘客できるような案内サインなどの整備</td></tr>
<tr><td>内　容</td><td colspan="4">わかりやすい案内標識等を整備することにより、利便性が向上し光客の誘客を図る。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">実施期間</td><td>短期（H28～30 年）</td><td>中期（H28～33 年）</td><td colspan="2">長期（H28～37 年）</td></tr>
<tr><td>○</td><td></td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td rowspan="2">実施主体</td><td>行政</td><td>団体・協会等</td><td>事業者</td><td>市民</td></tr>
<tr><td>○</td><td></td><td></td><td></td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>事業名</td><td colspan="4">②街路樹の植栽や市民協働による花いっぱい運動</td></tr>
<tr><td>内　容</td><td colspan="4">・街路樹などによる沿道の緑化を図る。
・遊休地などを活用した、市民協働による花いっぱい運動を展開する。
・桜の植栽によるまちづくりに協力する。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">実施期間</td><td>短期（H28～30 年）</td><td>中期（H28～33 年）</td><td colspan="2">長期（H28～37 年）</td></tr>
<tr><td></td><td>○</td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td rowspan="2">実施主体</td><td>行政</td><td>団体・協会等</td><td>事業者</td><td>市民</td></tr>
<tr><td>○</td><td>○</td><td></td><td>○</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>事業名</td><td colspan="4">③既存観光資源の整備</td></tr>
<tr><td>内　容</td><td colspan="4">・野岳湖公園や岳の木場公園、諏訪ノ森など、ウォーキングコースの整備を行う。
・史跡等の整備を行う。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">実施期間</td><td>短期（H28～30 年）</td><td>中期（H28～33 年）</td><td colspan="2">長期（H28～37 年）</td></tr>
<tr><td></td><td>○</td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td rowspan="2">実施主体</td><td>行政</td><td>団体・協会等</td><td>事業者</td><td>市民</td></tr>
<tr><td>○</td><td></td><td></td><td></td></tr>
</table>

(2)景観を活かした観光客の誘客

本市には、大村湾や並木道通り、里山の景観など、普段気づかない街並みが美しい景観となっています。また、その道沿いには、カフェやレストランなど、景観とともに楽しめるスポットが数多くあり、このような資源を情報発信し、観光客の誘客に繋げます。

<table>
<tr><td>事業名</td><td colspan="4">①市内道路の通称愛称化事業</td></tr>
<tr><td>内　容</td><td colspan="4">・由緒ある道路にふるさとの歴史的人物名や物語名、産品名などを通称化し、街並みへの観光誘客化を図る。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">実施期間</td><td>短期（H28～30 年）</td><td colspan="2">中期（H28～33 年）</td><td>長期（H28～37 年）</td></tr>
<tr><td>○</td><td colspan="2"></td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="2">実施主体</td><td>行政</td><td>団体・協会等</td><td>事業者</td><td>市民</td></tr>
<tr><td>○</td><td>○</td><td></td><td>○</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>事業名</td><td colspan="4">②シーサイドカフェ</td></tr>
<tr><td>内　容</td><td colspan="4">・大村湾のアピールとして、漁師の館（活魚）夕陽のカフェ
・湾内クルーズなどと連携</td></tr>
<tr><td rowspan="2">実施期間</td><td>短期（H28～30 年）</td><td colspan="2">中期（H28～33 年）</td><td>長期（H28～37 年）</td></tr>
<tr><td></td><td colspan="2">○</td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="2">実施主体</td><td>行政</td><td>団体・協会等</td><td>事業者</td><td>市民</td></tr>
<tr><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>事業名</td><td colspan="4">③大村の街なみ景観ガーデンさるく事業</td></tr>
<tr><td>内　容</td><td colspan="4">・公園、名所、農家民家、事業所などのガーデンと景観スポット、街路樹を巡る「さるく」ツアー（造園会社とのタイアップ化）
・民家、事業所、行政による連携協力によるツアー（コースエリアの設定）</td></tr>
<tr><td rowspan="2">実施期間</td><td>短期（H28～30 年）</td><td colspan="2">中期（H28～33 年）</td><td>長期（H28～37 年）</td></tr>
<tr><td></td><td colspan="2">○</td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="2">実施主体</td><td>行政</td><td>団体・協会等</td><td>事業者</td><td>市民</td></tr>
<tr><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>事業名</td><td colspan="4">④景観とカフェなどのドライブコースづくり</td></tr>
<tr><td>内　容</td><td colspan="4">　里山や街路樹などの魅力あるポイントを紹介し、ドライブコースとして情報発信する。
・レインボーロード沿いの景観
・萱瀬方面に抜ける国道 444 号
・杭出津から松原線の並木道
・三浦（溝陸）方面から久原線</td></tr>
<tr><td rowspan="2">実施期間</td><td>短期（H28～30 年）</td><td>中期（H28～33 年）</td><td colspan="2">長期（H28～37 年）</td></tr>
<tr><td></td><td>○</td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td rowspan="2">実施主体</td><td>行政</td><td>団体・協会等</td><td>事業者</td><td>市民</td></tr>
<tr><td>○</td><td>○</td><td></td><td>○</td></tr>
</table>

5　官民協働による観光地づくり

(1)新たな観光資源の発掘と商品開発

今後、市民、民間企業などの皆さんによる観光に関する研究を行い、観光資源の発掘、観光商品の開発など、官民協働による観光まちづくりを推進します。

また、大村の食材を使った新たな食の開発、土産物の開発を行うと同時に、観光客を誘客できるような魅力ある祭りに転換します。

事業名	**①市民協働による観光振興に関する研究会の開催や企画立案**			
内　容	市民対象の観光に関する研究会を行い、新たな観光資源の発掘と観光ルートを開発し、市民による観光まちづくりの意識醸成を図る。			
実施期間	短期（H28～30 年）	中期（H28～33 年）	長期（H28～37 年）	
	○			
実施主体	行政	団体・協会等	事業者	市民
	○	○	○	○

事業名	**②特産品の販路開拓事業**			
内　容	東京などの観光地や商業施設等で、大村特産市を開催し販路開拓を図る。			
実施期間	短期（H28～30 年）	中期（H28～33 年）	長期（H28～37 年）	
	○			
実施主体	行政	団体・協会等	事業者	市民
	○	○	○	

事業名	**③ペットと遊べる場所の情報発信**			
内　容	野岳湖公園や森園公園など、ペットと遊べる場を県内外への情報発信を行う。			
実施期間	短期（H28～30 年）	中期（H28～33 年）	長期（H28～37 年）	
	○			
実施主体	行政	団体・協会等	事業者	市民
	○	○	○	

<table>
<tr><td>事業名</td><td colspan="4">④ＪＲとタイアップしたウォーキングコースの開発</td></tr>
<tr><td>内　容</td><td colspan="4">祭りや観光資源を巡るウォーキング、近隣市町と連携による長崎街道ウォーキングを開催する。
 </td></tr>
<tr><td rowspan="2">実施期間</td><td colspan="2">短期（H28～30 年）</td><td colspan="2">中期（H28～33 年）</td><td>長期（H28～37 年）</td></tr>
<tr><td colspan="2">○</td><td colspan="2"></td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="2">実施主体</td><td>行政</td><td>団体・協会等</td><td>事業者</td><td colspan="2">市民</td></tr>
<tr><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td colspan="2"></td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>事業名</td><td colspan="4">⑤飲食関係団体と連携したグルメツアーの開発</td></tr>
<tr><td>内　容</td><td colspan="4">カレーや新たな食の開発による食のイベントを開催し、県外からツアー造成による誘客を図る。
 </td></tr>
<tr><td rowspan="2">実施期間</td><td colspan="2">短期（H28～30 年）</td><td colspan="2">中期（H28～33 年）</td><td>長期（H28～37 年）</td></tr>
<tr><td colspan="2">○</td><td colspan="2"></td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="2">実施主体</td><td>行政</td><td>団体・協会等</td><td>事業者</td><td colspan="2">市民</td></tr>
<tr><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td colspan="2"></td></tr>
</table>

(2)新たな食と土産物の開発

本市には、豊富な食材が存在し大村ならではの食に活かされておらず、また、土産物といっても選択肢が少ない状況です。

このような状況のもと、伝統工芸品や和洋菓子など、新たな観光土産物の開発が必要です。また、大村の食材を使った新たな食の開発を進めます。

<table>
<tr><td>事業名</td><td colspan="4">①大村の食材を使った新たな食の開発</td></tr>
<tr><td>内　容</td><td colspan="4">大村の飲食業関係者、農・漁業者と連携を図り、大村の食材を使った新たな食の開発を行う。
 </td></tr>
<tr><td rowspan="2">実施期間</td><td colspan="2">短期（H28～30 年）</td><td colspan="2">中期（H28～33 年）</td><td>長期（H28～37 年）</td></tr>
<tr><td colspan="2">○</td><td colspan="2"></td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="2">実施主体</td><td>行政</td><td>団体・協会等</td><td>事業者</td><td colspan="2">市民</td></tr>
<tr><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td colspan="2"></td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>事業名</td><td colspan="4">②和洋菓子の新たな土産物となる商品開発</td></tr>
<tr><td>内　容</td><td colspan="4">シュガーロード関係自治体や高校等と連携し、土産物となるような新た和洋菓子の開発を行う。
 </td></tr>
<tr><td rowspan="2">実施期間</td><td>短期（H28～30 年）</td><td colspan="2">中期（H28～33 年）</td><td>長期（H28～37 年）</td></tr>
<tr><td>○</td><td colspan="2"></td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="2">実施主体</td><td>行政</td><td>団体・協会等</td><td>事業者</td><td>市民</td></tr>
<tr><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td></td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>事業名</td><td colspan="4">③キャラクターを活用した新たな商品開発</td></tr>
<tr><td>内　容</td><td colspan="4">市マスコットキャラクター「おむらんちゃんや「義犬華丸くん」のデザインを活用した新たな商品開発を行う。
 </td></tr>
<tr><td rowspan="2">実施期間</td><td>短期（H28～30 年）</td><td colspan="2">中期（H28～33 年）</td><td>長期（H28～37 年）</td></tr>
<tr><td>○</td><td colspan="2"></td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="2">実施主体</td><td>行政</td><td>団体・協会等</td><td>事業者</td><td>市民</td></tr>
<tr><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td></td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>事業名</td><td colspan="4">④オオムラザクラを使用した物産の開発・販売</td></tr>
<tr><td>内　容</td><td colspan="4">・桜から抽出した香料を使用し、リップクリーム等の開発を行う。
・塩漬けにした花を使用し、和洋菓子等の開発を行う。
・押し花・ドライフラワーを使用したポプリ等の雑貨・文具等の開発を行う。
・市内商店・宿泊施設・空港売店・新幹線駅構内・長崎便機内販売を行う。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">実施期間</td><td>短期（H28～30 年）</td><td colspan="2">中期（H28～33 年）</td><td>長期（H28～37 年）</td></tr>
<tr><td></td><td colspan="2">○</td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="2">実施主体</td><td>行政</td><td>団体・協会等</td><td>事業者</td><td>市民</td></tr>
<tr><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td></td></tr>
</table>

(3)魅力あるイベントへの転換

本市には、魅力あるイベントを開催しているところですが、来場者も市内、県内にとどまり、交流人口の拡大に繋がっていないのが現状です。

このような中、それぞれの祭りの特徴を生かしながら、県外、更には外国からの観光客の集客に繋げるため、イベント内容の充実と新たな事業への転換を図ります。

事業名	①年間をとおした大村公園まつり			
内　容	春から冬にかけて、桜まつりや花菖蒲まつり、秋のもみじ祭り、冬のイルミネーション祭りを年 4 回開催する。			
実施期間	短期（H28～30 年）	中期（H28～33 年）	長期（H28～37 年）	
	○			
実施主体	行政	団体・協会等	事業者	市民
	○	○		

事業名	②動物愛護発祥の地として新たなイベントの開催			
内　容	「義犬華丸」の歴史的背景を国内外に発信するとともに、動物愛護の聖地として人と動物がふれあうイベントを開催する。			
実施期間	短期（H28～30 年）	中期（H28～33 年）	長期（H28～37 年）	
	○			
実施主体	行政	団体・協会等	事業者	市民
	○	○		

事業名	③食を活かした交流拡大イベントの開催			
内　容	県内外の集客を図るため、イベント内容の見直しと県内外の魅力ある食を集めた、食のイベントを開催する。			
実施期間	短期（H28～30 年）	中期（H28～33 年）	長期（H28～37 年）	
	○			
実施主体	行政	団体・協会等	事業者	市民
	○	○	○	

事業名	**④既存の祭りを魅力あるプログラムへの充実**			
内　容	夏越まつりを滞在型となるイベントを開催することで、国内外からの観光客の集客を図る。また、秋まつりのイベントを子供や家族で楽しめる内容、出店内容の充実を図る。			
実施期間	短期（H28～30 年）	中期（H28～33 年）	長期（H28～37 年）	
	○			
実施主体	行政	団体・協会等	事業者	市民
	○	○		

事業名	**⑤大村映画フェスティバル事業**			
内　容	・映像による大村のイメージアップ、集客、滞在誘発と文化向上を図る。 ・市民主導のイベント事業（大村映画の日、祭り、シネマウィーク、コンクールなど） ・行政、団体の支援で事業化			
実施期間	短期（H28～30 年）	中期（H28～33 年）	長期（H28～37 年）	
		○		
実施主体	行政	団体・協会等	事業者	市民
	○	○		○

事業名	**⑥イルミネーションを活かしたイベントの開催**			
内　容	大村駅をはじめとする周辺市街地のイルミネーションは、シンボル的存在となっており、イルミネーションを活用した冬の夜型イベントを開催する。			
実施期間	短期（H28～30 年）	中期（H28～33 年）	長期（H28～37 年）	
		○		
実施主体	行政	団体・協会等	事業者	市民
	○	○	○	

6　おもてなしを推進する観光地づくり

(1)観光ガイドの充実と人材育成

ボランティアガイドの会は、年間 150 回のガイドの受入を行っており、人材不足が課題となっています。

今後、「長崎の教会群とキリスト教関連遺産」が世界遺産登録に伴い、国内外の観光客が本市を訪れ、ガイドの依頼が増えてくるものと予想しています。

このようなことを踏まえ、ガイドの育成や外国人観光客に対応するための人材育成に努めます。

<table>
<tr><td>事業名</td><td colspan="4">①歴史観光ボランティアガイドの会の活動促進</td></tr>
<tr><td>内　容</td><td colspan="4">ボランティアガイド養成講座や研修等を実施し、歴史観光ガイドの会のサポートを行う。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">実施期間</td><td>短期（H28～30 年）</td><td colspan="2">中期（H28～33 年）</td><td>長期（H28～37 年）</td></tr>
<tr><td>○</td><td colspan="2"></td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="2">実施主体</td><td>行政</td><td>団体・協会等</td><td>事業者</td><td>市民</td></tr>
<tr><td>○</td><td>○</td><td></td><td></td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>事業名</td><td colspan="4">②外国人観光客に対応したガイドの育成</td></tr>
<tr><td>内　容</td><td colspan="4">外国人観光客が増加することが予想されるため、人材の確保とガイドの養成講座を実施する。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">実施期間</td><td>短期（H28～30 年）</td><td colspan="2">中期（H28～33 年）</td><td>長期（H28～37 年）</td></tr>
<tr><td>○</td><td colspan="2"></td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="2">実施主体</td><td>行政</td><td>団体・協会等</td><td>事業者</td><td>市民</td></tr>
<tr><td>○</td><td>○</td><td></td><td>○</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>事業名</td><td colspan="4">③新たなニーズに応じたガイドの育成</td></tr>
<tr><td>内　容</td><td colspan="4">自然や癒しを求める観光客が増えつつあり、植物や登山客の要望に応えるためガイドの養成講座を実施する。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">実施期間</td><td>短期（H28～30 年）</td><td colspan="2">中期（H28～33 年）</td><td>長期（H28～37 年）</td></tr>
<tr><td>○</td><td colspan="2"></td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="2">実施主体</td><td>行政</td><td>団体・協会等</td><td>事業者</td><td>市民</td></tr>
<tr><td>○</td><td>○</td><td></td><td></td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>事業名</td><td colspan="4">④観光人材育成研修の実施</td></tr>
<tr><td>内　容</td><td colspan="4">・外部の研修実施機関、講師招聘により観光推進に必要とされる人材の育成研修を実施する。
・ニューツーリズム商品企画、訪日外国人受け入れ、ユニバーサルツーリズム対応などのテーマにつき研修を実施する。
・行政、協会及び観光・宿泊など市内事業者担当者、一般市民を含めた受講者を広く募集する。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">実施期間</td><td>短期（H28～30 年）</td><td>中期（H28～33 年）</td><td colspan="2">長期（H28～37 年）</td></tr>
<tr><td></td><td>○</td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td rowspan="2">実施主体</td><td>行政</td><td>団体・協会等</td><td>事業者</td><td>市民</td></tr>
<tr><td>○</td><td>○</td><td></td><td></td></tr>
</table>

(2)おもてなしの充実と市民の意識醸成

本市を訪れる観光客に心温まる観光を提供するため、市民、事業者、行政が一体となっておもてなしの運動を行っていかなければなりません。

JR 大村線では、「ななつ星」が運行され、今後、観光列車も運行が開始されます。「また行ってみたい」と思ってもらえるような、手を振るなどの小さな取り組みが必要です。

<table>
<tr><td>事業名</td><td colspan="4">①コンベンション誘致に係るおもてなしの強化</td></tr>
<tr><td>内　容</td><td colspan="4">アフターコンベンションの充実と歓迎看板や手提げ袋等の物的支援などを行う。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">実施期間</td><td>短期（H28～30 年）</td><td>中期（H28～33 年）</td><td colspan="2">長期（H28～37 年）</td></tr>
<tr><td>○</td><td></td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td rowspan="2">実施主体</td><td>行政</td><td>団体・協会等</td><td>事業者</td><td>市民</td></tr>
<tr><td>○</td><td>○</td><td></td><td></td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>事業名</td><td colspan="4">②市民のおもてなしに対する意識醸成</td></tr>
<tr><td>内　容</td><td colspan="4">県が掲げている「おもてなし 6 か条」のもと、幼稚園や保育園、小・中学生、高校生、市民全体におもてなしの意識の向上を図る。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">実施期間</td><td>短期（H28～30 年）</td><td>中期（H28～33 年）</td><td colspan="2">長期（H28～37 年）</td></tr>
<tr><td>○</td><td></td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td rowspan="2">実施主体</td><td>行政</td><td>団体・協会等</td><td>事業者</td><td>市民</td></tr>
<tr><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>事業名</td><td colspan="4">③おもてなし協力隊への入会促進</td></tr>
<tr><td>内　容</td><td colspan="4">市民のおもてなしに対する意識醸成を図るため、「おもてなし協力隊」の加入促進を図る。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">実施期間</td><td>短期（H28～30 年）</td><td>中期（H28～33 年）</td><td colspan="2">長期（H28～37 年）</td></tr>
<tr><td>○</td><td></td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td rowspan="2">実施主体</td><td>行政</td><td>団体・協会等</td><td>事業者</td><td>市民</td></tr>
<tr><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr>
</table>

7　情報発信を強化した観光地づくり

(1)関係団体と連携した情報発信

本市の観光情報を効果的、効率的に発信するため、新聞や観光情報誌及びテレビなどのマスメディア等の情報発信やホームページの充実に努め、本市の認知度の向上と観光客の誘致促進を図ります。

また、講演会やシンポジウムなどの開催による情報発信、ゆるキャラを活用した観光ＰＲ、県観光連盟と連携しロケ誘致を推進します。

事業名	**①観光施設等を活用した効果的な情報発信**			
内　容	市内観光施設や公共交通機関などへ観光情報の発信やパンフレットの充実を図る。			
実施期間	短期（H28～30 年）	中期（H28～33 年）	長期（H28～37 年）	
	○			
実施主体	行政	団体・協会等	事業者	市民
	○	○	○	

事業名	**②ゆるキャラを活用した情報発信**			
内　容	大村市マスコットキャラクター「おむらんちゃん」や「義犬華丸くん」を活用し、観光ＰＲを行う。			
実施期間	短期（H28～30 年）	中期（H28～33 年）	長期（H28～37 年）	
	○			
実施主体	行政	団体・協会等	事業者	市民
	○	○	○	

事業名	**③県観光連盟と連携した情報発信とロケ誘致**			
内　容	県観光連盟（フィルムコミッション）と連携し、映画やテレビ番組のロケ地誘致、ＣＭなど、大村の知名度向上とイメージアップを図る。			
実施期間	短期（H28～30 年）	中期（H28～33 年）	長期（H28～37 年）	
	○			
実施主体	行政	団体・協会等	事業者	市民
	○	○		

事業名	④旅行会社等へのプロモーションの強化			
内　容	観光開発商品やイベント情報など、旅行会社やメディアなどへ情報提供を行う。			
実施期間	短期（H28～30 年）	中期（H28～33 年）	長期（H28～37 年）	
	○			
実施主体	行政	団体・協会等	事業者	市民
	○	○		

事業名	⑤講演会やシンポジウム、フォーラムの開催による情報発信			
内　容	講演会やシンポジウム、フォーラムのコンベンションを開催することにより、アフターコンベンションしての情報発信を行う。			
実施期間	短期（H28～30 年）	中期（H28～33 年）	長期（H28～37 年）	
	○			
実施主体	行政	団体・協会等	事業者	市民
	○	○	○	

(2)観光客への効果的な情報発信

観光客の視点に立った情報を的確かつ効果的に伝えるようインターネットの充実や観光客のニーズに応じた、利便性のあるパンフレットの制作を行います。

事業名	①インターネットによる情報発信			
内　容	観光客の視点に立ち、観光施設や特産品など、観光客が知りたい情報が入手できるインターネットの情報発信の充実を図る。			
実施期間	短期（H28～30 年）	中期（H28～33 年）	長期（H28～37 年）	
	○			
実施主体	行政	団体・協会等	事業者	市民
	○	○		

事業名	②コンベンション協会の案内機能の充実			
内　容（提案）	タブレット端末等による多言語音声・文字情報による情報発信を行う。			
実施期間	短期（H28～30 年）	中期（H28～33 年）	長期（H28～37 年）	
	○			
実施主体	行政	団体・協会等	事業者	市民
	○	○		

事業名	③市民協働によるおおすすめ観光パンフレットの作成			
内　容	市民目線の観光ルートをターゲットに応じた、パンフレットを作成しする。			
実施期間	短期（H28～30 年）	中期（H28～33 年）	長期（H28～37 年）	
	○			
実施主体	行政	団体・協会等	事業者	市民
	○	○	○	○

事業名	④ポスター及びガイドマップ等の充実			
内　容	大村の自然や歴史、様々な魅力を伝えるポスター制作や観光客のニーズに応じたガイドマップを制作する。			
実施期間	短期（H28～30 年）	中期（H28～33 年）	長期（H28～37 年）	
	○			
実施主体	行政	団体・協会等	事業者	市民
	○	○		

事業名	⑤多言語対応のパンフレット、ＤＶＤの充実			
内　容	訪日外国人の観光客をターゲットにした、日本文化の体験や自然などを魅力的な DVD を制作する。既存のパンフレットを多言語対応に制作する。			
実施期間	短期（H28～30 年）	中期（H28～33 年）	長期（H28～37 年）	
	○			
実施主体	行政	団体・協会等	事業者	市民
	○	○		

事業名	⑥観光推奨モデルコース音声ナビゲーションの導入			
内　容	・多言語音声ナビゲーションによる推奨モデルコースの案内、観光スポットの解説 ・ナビゲーション端末貸出による徒歩観光、レンタサイクル観光への情報支援 ・コース上の物産展・飲食店の案内により、市内事業者への来店促進 ・利用者情報のビッグデータによる観光政策のフィードバック			
実施期間	短期（H28～30 年）	中期（H28～33 年）	長期（H28～37 年）	
		○		
実施主体	行政	団体・協会等	事業者	市民
	○	○		

第５章　重点的な取り組み

平成２８年（２０１６年）３月、鈴田地区に道の駅「長崎街道鈴田峠」が、平成３０年度（２０１８年度）には、県立図書館と市立図書館の合築に併せ新たな大村市歴史資料館（仮称）が完成予定です。

また、九州新幹線西九州ルート（長崎ルート）も、平成３４年（２０２２年）春には、開業予定となっています。

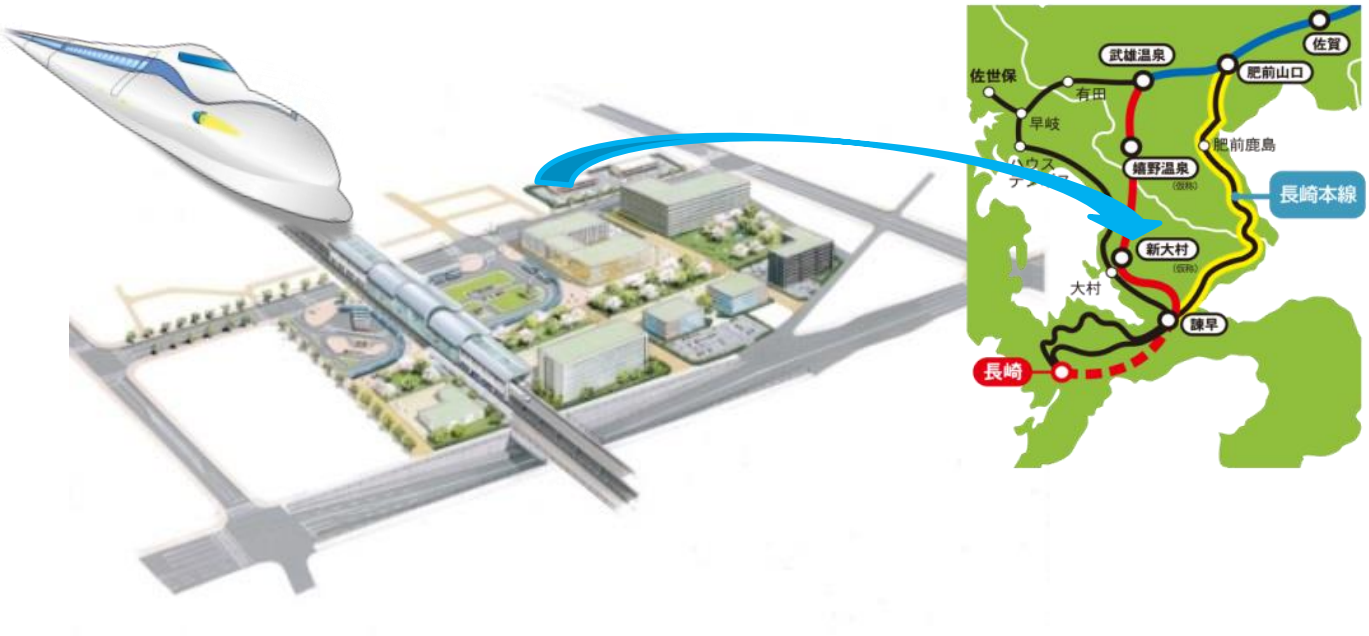
今後、このような施設を観光交流の拠点として活用するため、開業までと開業後の計画を明確にして、受け入れ体制の整備に取り組みます。

１　九州新幹線西九州ルート開業に向けた観光客の誘客

□今後の方向性

高速交通網が整う本市では、これから新大村駅（仮称）を観光交流拠点とした滞在型観光となるよう駅周辺の整備を行い、素通りの街から滞在の街への転換を図るとともに、市内観光への周遊を図る二次交通の整備が必要です。

また、観光客（外国人観光客）への観光情報を提供するため、観光案内看板や観光案内所の整備に取り組みます。



新大村駅（仮称）完成予想図

(1)魅力的な景観づくりによる交流拠点

- 桜の植栽による、春の観光地を演出します。
- 郡川の清流を活用した、夏の遊び場とします。
- 紅葉の植栽による、秋の観光地を演出します。
- 並木にイルミネーションを装飾し、冬の風物詩とします。

四季をとおして集う各種イベントの開催

(2)施設を活用した観光客の誘客

- 全国初フリーゲージトレインの車両基地施設を活用し、教育旅行等や学術・企業の交流拠点として誘客を図ります。
- 国内外からの観光客に対して、案内所としての情報発信機能の強化を図るとともに、本市の特産品販売スペースを設け販路拡大を図ります。
- 市内への周遊観光を促すため観光案内看板を設置します。

(3)二次交通の整備

- 観光客のニーズに応じた周遊観光（自然、歴史、体験など）のメニュー化を図るとともに、市内観光周遊バスの充実に努めます。
- 大村IC～新大村駅（仮称）～長崎空港間、中心市街地～ボートレース大村間を繋ぐ、路線バスの運行の整備を研究します。

- タクシーの利便性を活かした、タクシー観光商品の開発を行います。
- 新大村駅（仮称）周辺の散策を楽しむため、レンタサイクルの整備を行います。

【事業実施計画】

計画内容	実施期間 / 実施主体	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年	平成32年	平成33年	平成34年	平成35年	平成36年	平成37年
魅力的な景観づくりの整備	行政	←	—	—	—	—	→				
四季をとおしたイベントの開催	市民・観光関連団体・行政							←	—	—	→
観光客の誘客	観光関連団体・行政							←	—	—	→
二次交通の整備	観光関連事業者・行政							←	—	—	→

２　大村市歴史資料館（仮称）の観光活用について

□今後の方向性

平成３０年度（２０１８年）に長崎県立図書館と合築による大村市立図書館・大村市歴史資料館（仮称）が新しく開館します。今後、教育委員会と連携を図りながら、歴史観光の推進と大村市歴史資料館（仮称）を拠点にした観光客の誘客に取り組みます。

(1)観光客の受入体制の拠点づくり

- 資料館を活用したガイドの研修を実施し、受け入れ体制を強化します。
- 修学旅行等の見学地として、受け入れ体制を強化します。
- 中心市街地への回遊を促進し、まちあるき観光を推進します。
- 教育委員会と連携し、歴史観光情報の提供を行います。

(2)大村市歴史資料館(仮称)を活かした観光客の誘客

- 特別展等の開催による情報発信を図ります。
- 大村市歴史資料館（仮称）を拠点にしたイベント（ウォーキング等）を開催し、観光客の誘客を図ります。
- 大村市歴史資料館（仮称）を拠点にした偉人や城下町の「さるく」ルートの開発を行います。
- 文化財や歴史資源をテーマにした講演会を開催し、県内外からの集客を図ります。
- 外国人観光客の誘客を図るため、ガイド養成講座や日本文化の体験プログラムの開発を行います。
- 団体見学や修学旅行に対応したプログラムの開発を行います。

【事業実施計画】

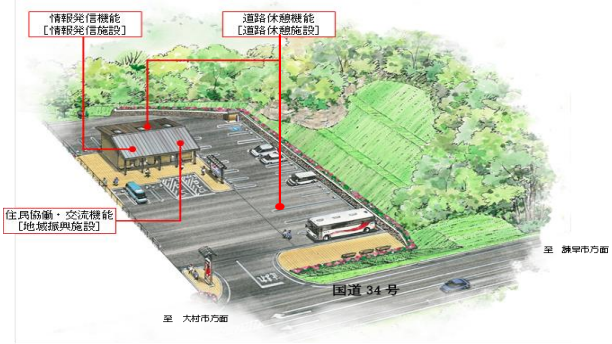
計画内容	実施期間／実施主体	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年	平成32年	平成33年	平成34年	平成35年	平成36年	平成37年
観光客の受け入れ体制の整備	観光関連団体・行政	←→	←→	←→							
大村市歴史資料館（仮称）を活かした観光客の誘客	観光関連団体・行政				←→	←→	←→	←→	←→	←→	←→

３　道の駅「長崎街道鈴田峠」を活用した地域活性化

□今後の方向性

道の駅「長崎街道鈴田峠」は、本市の観光交流拠点として位置付け、観光施設や特産品、大村の食など、周辺地域や本市の魅力をＰＲする情報発信の場として整備を行います。

また、市民活動の拠点として、周辺住民をはじめ、本施設に来訪される方々との交流が図られ、地域の個性を活かせる賑わいの場、地域振興の中核となる施設として活用します。



「道の駅」長崎街道鈴田峠イメージ図

また、道の駅への誘客を図るため、長崎街道に特化した、周遊観光や近隣市町と連携したイベントの開催を企画します。

(1)住民協働・交流拠点の創出

➢ カフェ機能の設置

「シュガーロード」とも呼ばれた長崎街道に因み、地産品を利用したスイーツ類やドリンク類など、年間を通して提供する「カフェ」機能を設置します。

（通年利用予定）

➢ 「朝マルシェ」の開催

地域がもつ多様な魅力を積極的に発信するため、土・日曜日、祝日等に地域事業者による道の駅「朝マルシェ」やフリーマーケット、収穫祭など、市民参加型の交流イベントを定期的に開催し、地域内外の交流機会の創出に努めます。

（1回/月の休日開催予定）

➢ 地元高校など、地域の教育機関と連携したコミュニティの拠点づくりとして、新作スイーツ等の開発や高校生カフェ等を定期的に開催することで、地元の若者に対する就業意識や食育に関する意識が醸成できる場の提供に努めます。

（2回/年開催予定）

(2)観光情報発信の機能強化

- 案内係を置き、年間を通して観光案内や季節ごとのイベント、開花情報、地元特産品等の情報を提供します。
- 日本政府観光局（JNTO）認定の外国人観光客向けの案内所を設置し、市内及び長崎県内の観光情報を３か国語対応（英語、中国語、韓国語）による案内で対応します。
- 大村市内の観光情報、イベント情報、特産品情報等を掲載したパンフレットの提供スペースやポスターの掲示スペースを設置します。
- 通信環境の整備、モバイル機器の普及を踏まえ、無料公衆無線LANを設置し、地域の情報発信の充実、インバウンド観光の促進、災害時の情報提供手段として活用できる環境を整備します。

(3)長崎街道を活用した観光客の誘客

- 「歴史の道百選」鈴田峠は、長崎街道の中でも往時の趣がよく残っており、観光資源の一つとして「長崎街道さるく」をガイドの会と連携し、観光商品のメニュー化を図ります。
- 近隣市町、関連団体と連携し、長崎街道ウォーキングを開催し、道の駅への集客を図ります。
- 長崎街道沿線自治体と連携し、シュガーロードとも呼ばれたそのイメージを活かした、スイーツ祭りを開催します。

【事業実施計画】

計画内容	実施期間 / 実施主体	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年	平成32年	平成33年	平成34年	平成35年	平成36年	平成37年
住民協働・交流拠点の創出	市民・観光関連団体 観光関係事業者	←→	←→	←→	←→	←→	←→	←→	←→	←→	←→
観光情報発信機能の強化	観光関連団体・行政	←→									
長崎街道を活用した観光客の誘客	観光関連団体・行政	←→	←→	←→	←→	←→	←→	←→	←→	←→	←→

４　自然や歴史を活かした観光まちづくり

□今後の方向性

本市には、雄大な自然や歴史的な史跡などが、市内各所に存在し、各エリアの地域資源を再確認にするとともに、観光客のニーズに応じた観光ルートの開発を行います。

市内全域の観光資源を活用した、滞在型観光となるような着地型観光商品の開発を行います。

(1)地域別の観光資源

本市には、豊かな自然や豊富な歴史的資源が各地区に存在し、この資源を再認識するとともに、新たな資源を発掘していく必要があります。

≪松原・福重地区≫

自　然	野岳湖公園、裏見の滝自然花苑、鉢巻山展望所、郡岳 松原海水浴場
歴　史	今富のキリシタン墓碑、帯取殉教地、八幡神社、松原宿 弥勒寺の仏頭、沖田踊、寿古踊
施　設	深澤儀太夫記念館、大又農園、シュシュ、フルーツの里、民泊 旧松屋旅館、長崎スコーコーヒーパーク、のだけ日より（体験）

≪黒木・萱瀬地区≫

自　然	多良岳、経ヶ岳、五家原岳、黒木渓谷、イチイガシ天然林 萱瀬ダム、琴平スカイパーク、大モミの木、萱瀬スギ シャクナゲの里、オオキツネノカミソリ、ツクシシャクナゲ
歴　史	仏の谷、田下のキリシタン様式墓碑群、中岳古戦場跡、菅無田古戦場跡、大村純忠史跡公園
施　設	萱瀬イルミネーション、えびねの郷、黒木キャンプ場 産直かやぜ、三彩の里、龍神温泉かやぜの湯

≪東大村・鈴田・三浦地区≫

自　然	日岳公園、ツツジ園
歴　史	長崎街道鈴田峠歴史の道、鈴田牢跡、伊賀峰城跡
施　設	鈴田峠農園、道の駅長崎街道鈴田峠、鈴田大神宮、三浦かんさく市

≪竹松・西大村地区≫

自　然	諏訪ノ森、岳の木場公園、森園公園
歴　史	首塚跡、胴塚跡、掩体壕、21海軍航空廠本部防空壕跡 放虎原殉教地、21海軍航空廠慰霊塔、獄門所跡、妻子別れの石、大村藩主大村家墓所、義犬華丸顕彰記念碑、天正遣欧少年使節顕彰之像、黒丸踊
施　設	サンスパおおむら、長崎空港

≪大村地区≫

自　然	臼島、大村公園（桜・花菖蒲）、
歴　史	玖島城跡、三城城跡、久原城跡、武家屋敷通り（本小路、上小路、小姓小路、草場小路、外浦小路）、五教館御成門、石井筆子像、旧円融寺庭園、勤王三十七士の碑 旧楠本正隆屋敷、長与専斎の旧宅、松林飯山の墓、長与俊達の墓、玖島崎古墳、御船蔵跡、忠霊塔
施　設	大村市立図書館・資料館、天正夢広場、ボートレース大村 コレモ大村、市民交流プラザ、国際交流プラザ

(2)滞在型観光コースの開発

各地域において点在する豊かな自然や自然を活かし、体験などを組み合わせた観光コースの開発が必要です。「癒し」「交流」をテーマとした滞在型観光コースの開発を行うことで、リピーター客の増加を図ります。

テーマ	野岳湖周辺で自然と体験を楽しむ
シーズン	４月：裏見の滝自然花苑（シャクナゲ） ９月：鉢巻山展望所（ヒガンバナ）
ターゲット	家族、小グループ、ドライブ旅行者
モデルコース	大村IC＝＜車＞＝野岳湖公園（裏見の滝自然花苑・鉢巻山展望所）＝おおむら夢ファームシュシュ（昼食・体験）＝のだけ日より（体験）＝大又農園（買い物）＝大村IC

テーマ	農家民泊による体験
シーズン	７～８月：ブルーベリー収穫／８～９月：ぶどう狩り １２～１月：黒田五寸人参収穫
ターゲット	学校団体、企業団体、訪日外国人団体
モデルコース	大村IC・長崎空港＝＜貸切バス＞＝福重地区（果物狩り、収穫体験）＝農家民泊（泊）＝松原地区（刃物づくり体験）＝大村IC・長崎空港

テーマ	長崎街道の松原宿「さるく」
シーズン	通年
ターゲット	個人、夫婦、女性グループ、熟年層、JR利用者
モデルコース	松原駅＝＜徒歩＞＝しおさい公園＝八幡神社＝旧松屋旅館＝長崎スコーコーヒーパーク＝兵児葉寿司おこし本舗＝JR松原駅

テーマ	多良山系の登山と温泉を楽しむ
シーズン	通年 ７月末～８月上旬：オオキツネノカミソリ
ターゲット	個人、夫婦、登山愛好家、訪日韓国人
モデルコース	大村駅＝＜路線バス・タクシー＞＝黒木登山口（多良岳、経ヶ岳、五家原岳）＝黒木登山口＝えびねの郷・産直かやぜ（買い物）＝かやぜの湯・サンスパおおむら（入浴）＝JR大村駅

テーマ	黒木・萱瀬地区で自然と体験を楽しむ
シーズン	７～８月：黒木キャンプ場
ターゲット	家族、小グループ、ドライブ旅行者、アウトドア愛好者
モデルコース	大村IC＝＜車＞＝萱瀬ダム・黒木渓谷（川遊び）＝ヒトツバタゴ＝黒木キャンプ場（泊）＝三彩の里（陶芸体験）＝琴平スカイパーク＝大村IC

テーマ	三浦・鈴田・東大村地区の自然と買い物を楽しむ
シーズン	４月：つつじ園
ターゲット	家族、熟年夫婦、小グループ、ドライブ旅行者
モデルコース	大村IC＝＜車＞＝つつじ園＝鈴田峠農園（昼食・買い物）＝三浦かんさく市（買い物）＝日岳公園（夕陽鑑賞）＝諫早IC・大村IC

テーマ	夕陽を楽しむ
シーズン	通年
ターゲット	個人、夫婦、女性グループ、熟年層、航空機利用者
モデルコース	新大村駅（仮称）＝＜タクシー＞＝岳ノ木場公園＝大村公園＝サンスパおおむら（入浴）＝森園公園（夕陽観賞）＝長崎空港（買い物）

テーマ	山桜や天然林を楽しむ
シーズン	４月
ターゲット	個人、夫婦、女性グループ、熟年層、レンタカー利用者
モデルコース	長崎空港＝＜レンタカー＞＝黒木～萱瀬の山桜＝岩谷観音＝えびねの郷＝萱瀬スギ＝大モミの木＝イチイガシ天然林＝長崎空港

テーマ	桜を楽しむ
シーズン	４月
ターゲット	個人、夫婦、女性グループ、熟年層、レンタカー利用者
モデルコース	長崎空港＝＜レンタカー＞＝大村公園＝与崎～久原池田線＝岳ノ木場公園＝琴平スカイパーク＝野岳湖公園＝長崎空港

テーマ	キリシタン史跡を巡る
シーズン	通年
ターゲット	キリスト教関係団体、キリスト教系私立学校、訪日外国人（韓国・フィリピン）
モデルコース	（大村市内泊）＝＜貸切バス＞＝仏の谷＝田下のキリシタン様式墓碑群＝大村純忠終焉の居館跡＝帯取殉教地＝今富のキリシタン墓碑＝放虎原殉教地＝長崎空港

テーマ	観光タクシーを利用したキリシタン巡礼
シーズン	通年
ターゲット	個人、小グループ、キリスト教信者・関係者 訪日外国人（韓国・フィリピン）
モデルコース	JR新大村駅（仮称）＝＜タクシー＞＝首塚跡＝胴塚跡＝天正遣欧少年使節顕彰之像＝獄門所跡＝妻子別れの石＝本経寺＝JR新大村駅（仮称）

テーマ	キリシタン巡礼と大村湾クルーズ（1泊2日）
シーズン	通年
ターゲット	キリスト教関係団体、キリスト教系私立学校、訪日外国人
モデルコース	長崎空港～＜チャーター船＞～横瀬浦＝＜貸切バス＞＝中浦ジュリアン記念公園＝横瀬浦＝出津・黒崎協会＝大村市内泊宿泊施設＝＜貸切バス＞＝放虎原殉教地＝大村純忠終焉の居館跡＝仏の谷＝大浦天主堂・旧羅典神学校＝長崎空港

テーマ	大村湾クルーズ　①スターウォッチングクルーズ 流星群観測と星座教室
シーズン	８月：ペルセウス座流星群 １１月：しし座流星群 １２月：ふたご座流星群
ターゲット	学校、科学館年会員、天文ファン、天文・科学雑誌購読者
モデルコース	長崎空港＝～＜チャーター船＞～大村湾（流星群観測と星座教室）＝大村市内泊

テーマ	大村湾クルーズ　②長崎空港夜景と飛行機ナイトウォッチング
シーズン	通年
ターゲット	航空ファン、写真愛好家
モデルコース	長崎空港～＜チャーター船＞～大村湾（海上からの夜景と離発着する飛行機の見学）～長崎空港
テーマ	大村湾クルーズ　③空港ぐるっと体験＆飛行機ウォッチング
シーズン	通年
ターゲット	航空ファン、写真愛好家
モデルコース	長崎空港～＜チャーター船＞～大村湾（海上空港の外周を航行離発着するする飛行機の見学）～長崎空港
テーマ	大村湾クルーズ　④海上から大村線を撮る！「お立ち台」クルーズ
シーズン	通年
ターゲット	航空ファン、写真愛好家
モデルコース	長崎空港～＜チャーター船＞～大村湾松原沖（海岸沿いを走る大村線の列車や観光列車を撮影）～東彼杵沖～大村市内泊

第６章　観光交流都市づくり計画の推進に向けて

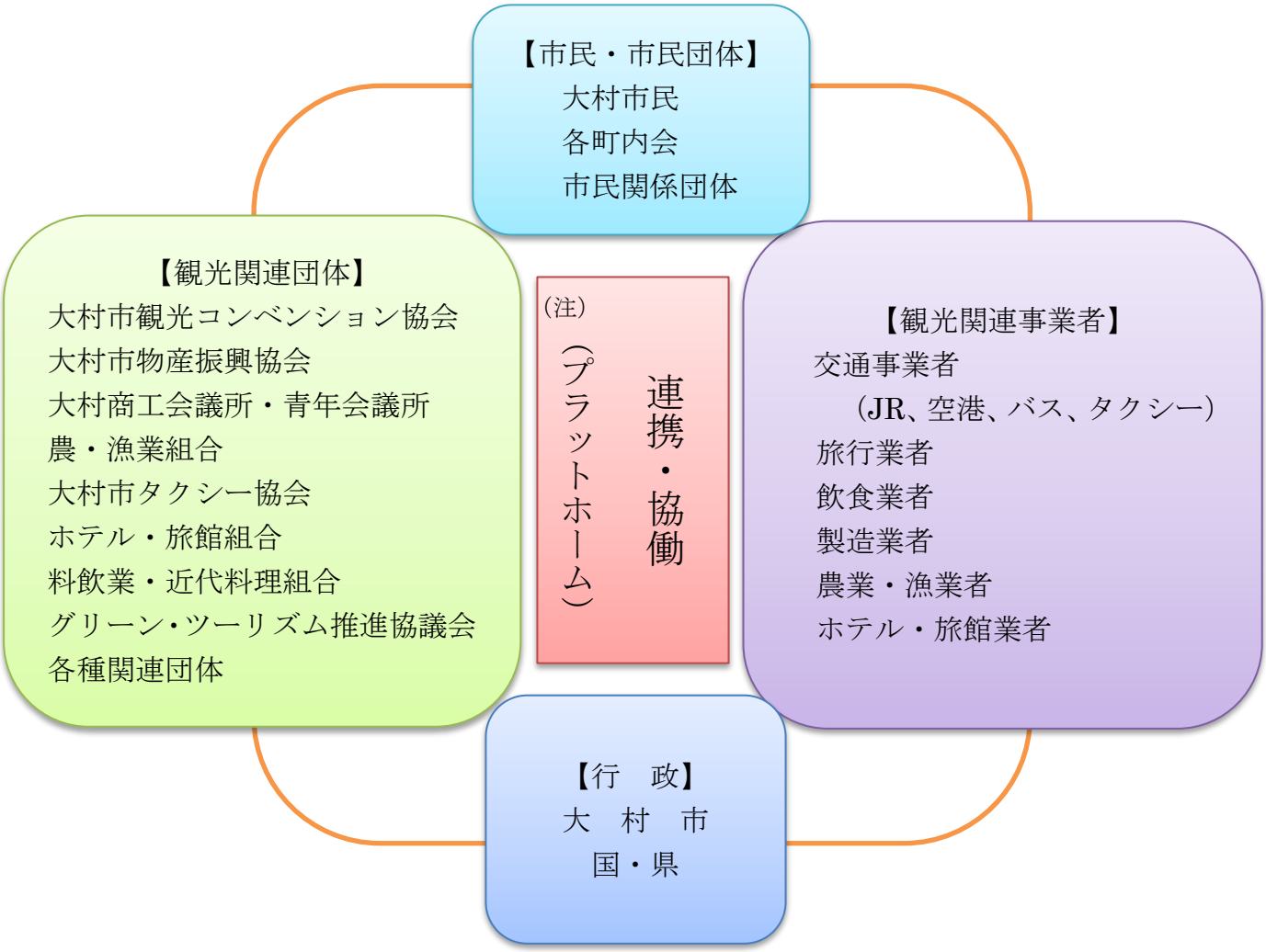
１　推進体制について

本計画を推進していくためには、市民、観光関連団体、観光関連事業者、行政が共通認識のもと、それぞれの役割を果たしながら互いに連携し観光交流都市づくりに取り組んでいく必要があります。

将来、観光推進と市民参加を更に強化するため、各種の観光事業をサポートする市民、外部による「プラットホーム」を創り、イベントや観光案内などの現場支援、新しい推進企画の提案、調査、市民人材育成セミナーの開催など、実践的サポート体制を図ります。

特に、人口減少は、観光客を受け入れる「おもてなし」側の人材不足も予想されるため、市民の参画はますます重要になってくるものと思われます。

【役割分担のイメージ図】



（注）観光まちづくりを推進する体制づくり

(1)市民の役割

市民は、地域の自然や歴史・文化を愛着と誇りを持って再認識し、観光素材の再発掘やメニュー化において、主体的な活動を行っていくことが重要です。

また、地域の魅力を自らブラッシュアップしながら、観光地づくりへの参画意識を高めるとともに、魅力ある観光資源を口コミ等により市内外に広く情報発信します。

○地域愛や郷土愛など、地域に対する誇りや愛情、愛着を持ち、本市の魅力を市内外に伝えていきます。
○観光客に対して、おもてなしの心で接していきます。
○観光振興に関心を持ちながら、観光まちづくりに参画します。
○これから予想される本市への移住者、市外の関係者に対応する観光まちづくりへの参画を誘発します。
○行政、事業者と結ぶ市民主導の観光 NPO など自主的グループを支援します。

(2)観光関連団体の役割

(一社)大村市観光コンベンション協会や(一社)大村市物産振興協会など、大村の観光振興の主導的機関として組織・体制の更なる強化を図るとともに、市や観光関連・民間関連事業者と連携し、効果的なプロモーションを行い、地域経済の活性化に努めます。

○本市と連携し観光地域づくりの中心的な役割を担うとともに、戦略的なプロモーション、商品造成を行う観光地域づくりプラットホーム機能を担います。
○観光事業者・団体をはじめとする市民との連携・協働により、地域資源を活用した着地型商品の企画・販売などの観光事業に取り組みます。
○会員事業者等と連携し、観光まちづくりに関する取り組みに対して協力・支援を行います。
○事業者と連携し、本市の物産振興の推進を図ります。
○観光イベントの企画運営及びおもてなしの人材育成を行います。
○将来の国際観光に備え、語学や異文化の習得など、子どもや若者を含め、人材育成を図ります。

(3)観光関連事業者の役割

観光関連・民間関連事業者は、本市の観光の最前線に立ち、観光客と接する観光振興の主体的役割を担っています。

また、市や観光関連団体及び市民と連携し観光産業の創出・振興を図ることが期待されます。

併せて、本市を訪れた人との心温まる「ふれあい」や「おもてなし」による、質の高いサービスの提供に努めます。

○自らの企画力や接客・接遇の質を高め、魅力ある商品サービスの提供や観光客の満足度を高める取り組みを行います。
○本市の観光振興に積極的に参画し、着地型観光の情報提供など観光客と地域を結びつける役割を担います。
○他産業との連携により、新たな魅力の創出、新たな観光需要への対応を行います。
○観光客に対する「おもてなし」の心あふれる人材育成を行います。

(4)市の役割

庁内の連携はもとより、国・長崎県を始め関係市町や関係機関、観光関連団体、観光関連・民間関連事業者及び市民、市民活動団体との協働のもと、観光によるまちづくりを推進します。併せて、各主体が自主的に取り組む観光によるまちづくり事業への支援、協力及び情報の提供を行います。

また、宿泊誘発など、滞在化への観光インフラや観光拠点施設の整備を進めます。

○観光交流都市づくり計画に基づき、本市の観光の方向性について総合的、具体的に検討し、関係者と連携して観光施策に取り組みます。
○長崎県・県観光連盟及び市の観光関連団体をはじめ、市民団体や市民との協働のもと、観光による市民参画のまちづくりを推進します。
○観光地としての意識を市民に持っていただくために、市民への啓発を行います。
○市内の観光関連事業者・団体の取り組みを支援します。また、それぞれの活動が相互に連携・協働できるよう調整します。
○本市の観光地域づくりを進めるために必要な人材育成を行います。
○マップやパンフレットなどの情報発信媒体の作成、公衆無線ＬＡＮなどＩＴシステム化、サイン・案内説明板など受入環境整備などの事業に取り組みます。

里山系の基本エリアの考え方　　【資料 1】

基本エリア	地域特性・資源	位置づけ	整備形成の方向
野岳・松原エリア	野岳湖、鉢巻山展望所周辺の里山から松原宿の田畑、街道周辺に至り、佐奈川内川の北部一帯含む水辺の景観 深澤儀太夫記念館、観光農園・カフェ・キャンプ場、裏見の滝自然花苑・しゃくなげ、フルーツの里・果樹園群、シュシュ、民泊、八幡神社・社寺群、松原宿・宿場など	・広域圏滞在交流拠点 市の歴史文化と里山文化の二大観光の拠点化 ・広域圏からの観光誘致の交流拠点 ・市の新しい宿泊滞在拠点	野岳湖周辺の農園、手作り工房ショップ、カフェ、シャクナゲなど花畑等が形成され、果物、野菜などの地元特産品や集約したシュシュが広域集約拠点を形成し、年間を通して広域誘客の形成 〇大村市の広域観光誘客基地（多様な観光対応）日帰り集客基地…里山型の民泊、コテージ、キャンプの滞在基地
萱瀬・黒木エリア	黒木渓谷・萱瀬ダムから郡川・国道 444 号線沿い、宮代、萱瀬、鬼橋一帯、古代・中世の古道、炭焼き、キリシタン史と山間部はダム景観と登山道で山間をめぐる、広域交通至近の田園は里山集落、市街展望の琴平スカイパーク、ダムサイト、（新）住民による林村産品の直売、カフェ、山荘、野外活動施設、農園など	・長期滞在・里山定住のエリアの形成化 住民のコミュニティ資源による田園型の中長期、新定住の形成 ・山荘、ダッシュ村、研修村集落のライトアップ活動	・野岳・松原とともに生活資源の供給エリアの郡川、古代国道沿いの田園・里山の資源による暮らしの環境と広域交通拠点や街の至近性を活かし、中・長期や新定住の拠点エリアの形成促進地 〇田園里山暮らしの JUI ターン者の受入れ 急過疎化の山間の集落との新コミュニティ形成
東大村・三浦エリア	・レインボーロードから木場、東大村から鈴田峠、三浦に至る山間・里山一帯で諫早市と市境造園農業、棚田、畜産、産業施設、福祉施設の混在など未整備 ・つつじ等の園芸、カフェ群、陶芸工房、長崎街道、鈴田峠、直売・レストラン、キリシタン碑、寺島、喫茶（海辺）など	・市民主導による市民・子どもたち、若者の野外交流、楽習拠点、合宿基地 ・クライン・ガルデン、教育ツーリズム、研修合宿、修学旅行の基地	・地域資源・環境・暮らし文化を活かしグリーン・ツーリズムによる市民・県民の交流及び子どもたちの野外楽習と新しい修学旅行、訪日教育旅行の滞在基地の創出を推進するエリア 〇市民主導による事業化、起業家、活性化市民・県民、学校教育の楽習の場修学旅行、訪日教育旅行基地の形成

～計画策定までの経緯～　　【資料2】

観光交流まちづくり計画策定専門委員会

実施日	内　容
平成２７年５月２９日	（１）観光交流都市づくり計画（仮称）策定について （２）第1章～第2章の検討
平成２７年６月３０日	（１）第1章～第2章の確認 （２）第3章～第5章の検討
平成２７年８月２７日	（１）第1章～第5章の確認 （２）第6章の検討
平成２７年１０月７日	（１）全章の確認 （２）参考資料（里山系基本エリアの考え方）
平成２７年１２月１６日	（１）全章の修正点についての確認

観光交流まちづくり計画策定専門委員会専門委員

氏　　名	所　属（役職）
片岡　　力（アドバイザー）	歴史を活かしたまちづくり戦略協議会　会長
酒井　辰郎（委員長）	大村市タクシー協会　会長
井原　孝司	大村ホテル・旅館組合　理事
江上　隆彦	大村商工会議所　調査役
菊田　孝治	九州旅客鉄道（株）大村駅長
楠山　史朗	長崎県営バス営業部　運輸課長
熊　康一朗	大村市観光コンベンション協会　委員
谷口真奈美	長崎国際大学　国際観光学科
鶴田　泰然	おおむら歴史観光ボランティアガイドの会　副会長
中川　有二	大村青年会議所　副理事長
日高　里依	大村市観光コンベンション協会　委員
廣島　　隆	大村市観光コンベンション協会　マネージャー
御厨　幹正	大村市物産振興協会　会長
冨永　達也	新幹線まちづくり推進室　課長補佐
田中　勝美	観光振興課　課長補佐
金原　剛蔵	都市計画課　係長
今村　雅憲	農業水産課　係長
今村　　明	文化振興課　係長
太田　武義（事務局）	観光振興課　課長
河野　康則（事務局）	観光振興課　係長
榎田百合子（事務局）	観光振興課　職員